

令和7年

予算特別委員会

3月17日

豊明市議会

予 算 特 別 委 員 会 会 議 録

令和 7 年 3 月 17 日

午前 10 時 00 分 開議

午後 3 時 19 分 閉会

1. 出席委員

委 員 長	鵜 飼 貞 雄	副委員長	近 藤 ひろひで
委 員	岡 島 ゆみこ	委 員	青 木 けんじ
委 員	鈴 木 智 和	委 員	中 堀 りゅういち
委 員	浅 井 たかお	委 員	こんどう のぶお
委 員	いとう ひろし	委 員	服 部 龍 一
委 員	武 谷 としお	委 員	郷右近 修
委 員	林 ゆきひろ	委 員	月 岡 修 一
委 員	三 浦 桂 司	委 員	一 色 美智子
委 員	堀 内 ち ほ	委 員	清 水 義 昭
委 員	ふじえ 真理子		
議 長	毛 受 明 宏		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議 会 事 務 局 長	加 藤 健 治	議 事 課 長	深 草 広 治
議 事 課 長 補 佐	寺 島 慎 二	議 事 担 当 係 長	矢 野 佑 輔
議 事 課 主 査	久 永 英 明		

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市 長	小 浮 正 典	副 市 長	土 屋 正 典
教 育 長	藤 井 和 久	行 政 経 営 部 長	小 串 真 美
市 民 生 活 部 長	伊 藤 正 弘	健 康 福 祉 部 長	中 村 泰 正
経 済 建 設 部 長	星 子 恭 士	教 育 部 長	浅 井 俊 一
秘 書 広 報 課 長	伊 藤 克 代	財 政 課 長	浦 倫 彰
総 務 課 長	山 田 隆 貴	債 権 管 理 課 長	高 垣 茂 晴
長 寿 課 長	塚 本 由 佳	保 険 医 療 課 長	近 藤 有 紀 子

土 木 課 長	外 山 紀 元	下 水 道 課 長	青 山 康 徳
環 境 課 長	松 本 裕 介	学 校 教 育 課 長	秋 永 亘 正
学 校 支 援 室 長	奥 平 剛	生 涯 学 習 課 長	相 羽 敏 明
図 書 館 長	水 野 美 樹	新給食センター準備室長	矢 野 優
秘書広報課長補佐	西 森 裕 記		

5. 傍聴議員

なし

6. 傍聴者

1 名

午前10時開議

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） おはようございます。ただいまから本日の予算特別委員会を開会いたします。

本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴の入室を許可します。

それでは、会議に入ります。

議案第12号から議案第19号までを一括議題といたします。

それでは、10款から始めます。

10款 教育費について、順次説明を願います。

浅井教育部長。

○教育部長（浅井俊一君） すみません、各課からの説明の前に、今回の当初予算の概要及び実施計画書におきまして教育部の部分で文字欠けですとか脱字等が生じております。この場をお借りしておわびして訂正させていただきます。大変申し訳ございませんでした。訂正箇所だけちょっと説明させてください。

まず、予算の概要の25ページ、こちらにちょっと複数か所ございます。

1点目でございます。一覧の左の列の2項目めの101番、学校給食センター統合整備事業についてですけれども、担当する新給食センター準備室の「新」の印字のほうが一部欠けてしまっております。

それから、2点目でございます。同じく25ページの一覧の右の列の一番下、108番の欄の事業名について、図書館システム更新事業の「業」の字が消えてしまっております。

あと、併せて配付しております第10次の実施計画書の38ページ、そちらのほうをお願いしたいと思います。この38ページの表の重点事業名の最下段について、同じく図書館システム更新事業の「業」の事が同様に抜けてしまっております。

今後このようなことがないように点検してまいります。申し訳ございませんでした。

では、引き続き、当初予算の10款について各課より説明申し上げます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） お願いします。

秋永学校教育課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） それでは、10款 教育費のうち、学校教育課所管分について大きく増減額した事業を中心に説明します。

歳出から説明しますので、予算書の224ページ、225ページを御覧ください。

10款1項2目下段、教育総務費、事務局費は、前年度に比較し3,634万6,000円の増額で、これは主にGIGAスクール構想における学習支援ソフトの購入によるものです。

226、227ページを御覧ください。

下段の3目 教育振興費は、前年度に比較し1億6,765万6,000円の増額で、これは主に放課後事務事業において児童クラブと放課後子ども教室の委託料が増加したことによるものです。

次に、234ページ、235ページを御覧ください。

2項1目 小学校費、学校管理費は、前年度に比較し4億8,843万9,000円の増額で、これは主にGIGAスクール構想における学習者用端末の購入とプロジェクター型電子黒板の設置によるものです。

238ページ、239ページを御覧ください。

3項1目 中学校費、学校管理費は、前年度に比較し1億1,396万8,000円の増額で、これは主にGIGAスクール構想における学習者用端末の購入によるものです。

次に、歳入について説明しますので、72ページ、73ページを御覧ください。

15款2項9目 県補助金、教育費県補助金は、前年度に比較し2億2,300万円の増額で、これは主に学習者用端末の購入に係る補助金を計上しているためです。

次に、13ページをお開きください。

第3表、債務負担行為、下から2段目、小中学校英語指導助手派遣業務委託事業は、小中学校の英語指導助手として外国人講師を配置するものです。

以上で学校教育課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 続いてお願いします。

矢野新給食センター準備室長。

○新給食センター準備室長（矢野 優君） それでは、新給食センター準備室所管の主な事業について説明をいたします。

歳出の説明をいたしますので、予算書の258ページ、259ページを御覧ください。

259ページの中段、4 給食センター整備事業の右側説明欄、設計・建設等モニタリング支援業務は、新給食センターの整備に係る設計及び建設業務を進めるに当たり、各種協議に当たっての専門的な知見からの助言や事業の進捗確認に係る支援等を受ける業務委託となります。

予算書の13ページを御覧ください。

この事業につきましては、中段、第3表、債務負担行為の最下段、モニタリング等支援業務委託事業のとおり、新施設が完成し、運用を開始する令和9年度までの3か年にわたって支援を受けるものとなります。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　続きまして、相羽生涯学習課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君）　それでは、生涯学習課所管分の令和7年度の当初予算について、前年度との増減が大きなものを説明いたします。

予算書の250、251ページを御覧ください。

10款4項8目　青少年対策費は約120万円の減額です。これは印刷物を全体的に見直し、内製での作成や電子主体に切り替えていくこととしたためでございます。

次に、252、253ページを御覧ください。

5項1目　保健体育総務費は約1,210万円の減でございます。これは6年度に計上した市制50周年のマラソン開催委託料の減額に対しまして、地域クラブのモデル事業として実施している指導員の謝礼と、あと、教育総務費から移管した休日の学校部活動の外部指導員の謝礼等の増額及びスポーツクラブへの補助金増額との相殺によるものでございます。

続きまして、254、255ページを御覧ください。

2目　体育施設費は約100万円の減額です。これは6年度実施した勅使グラウンド南側の駐車場の整備工事費分の減額等によるものでございます。

以上で生涯学習課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　続いてお願いします。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君）　それでは、図書館所管分の主なものについて御説明いたします。

予算書244、245ページを御覧ください。

令和6年度と比較し、人件費及び図書館システムのOS更新のため電算関係委託料が増額となっておりますが、南部公民館図書室リニューアル完了による図書購入費の減額及び図書館高圧機器更新工事の完了による減額との相殺により、前年度比191万9,000円の減額となっております。

以上で説明終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　説明は終わりました。

10款　教育費について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　225ページの教育委員会費、上から3番目の事業点検及び評価謝礼と。これ、一体どういったものか、ちょっと教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これにつきましては、教育委員会の事務事業の中で主な事業について外部の評価員の方に評価をいただくというものの謝礼でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の外部の評価員というのはどのような方がやられてるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 学識経験者として、大学教授であったりとか、教員のOBであったりとかという方をお願いしております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の75ページ、入です。下から2段目の教育振興費委託金、ラーケーションの日モデル事業委託金が金額大きく上がっていますけども、こちらの内容をお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これはラーケーションに係る教員の、教員等がラーケーションでお休みすることもございますので、そのために例えば教員補助であったりとか、スクールサポートスタッフとかを雇用するもので、今回、教員補助の方を多く充てるところで単価が上がりますので、その分、上昇しておるところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 227ページ、2の事務局事務事業の4番目、消耗品費3,733万、これ、何を買うんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 主に学習支援ソフトのライセンス料の更新とデジタルドリルのソフトウェアのライセンスの更新というところが主な費用となっております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ライセンス料ということなんですけど、今までと同じものを更新するのか、何か新しく今回切り替わるものってあるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基本的には同じものを更新するということでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 当初予算の概要です。67ページです。教育振興事業、学校水泳運動指導業務委託料の減額、僅かなのかもしれませんが、これは児童の数が減ったことによる変動なんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） お見込みのとおりでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 実際にどれぐらい減ったかという数は分かりますかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） ごめんなさい、正確な数字はちょっと今持ち合わせておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか、ございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 227ページの先ほどの消耗品のまた4つぐらい下、学校巡回弁護士委託料、これはどういった方になるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） こちらは、みよし市と豊明市が連携してスクールロイヤ

ーをお願いしとるというものの費用でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　今のところで、スクールロイヤーということで、これ、保護者の相談も聞くんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君）　スクールロイヤーの主な役割としては、教員が法律的な視点で検討せざるを得ないときにスクールロイヤーの方の助言をいただいて対応するところですので、保護者等の対応というのはありません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　じゃ、子どもの相談は受けるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君）　お子さんの相談も受けることはありません。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかにありませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員　概要の67ページの最下段、不登校児童生徒保護者支援事務委託料99万8,000円、新規だと思うんですけども、内容をお願いいたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君）　これにつきましては、相談事業ということとポータルサイトの構築というものがございます。不登校の保護者、不登校の児童生徒さんを持つ保護者の方向けの相談会を月1回、毎月やるということと、保護者向けの保護者目線でつくられたポータルサイトを構築するというものでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員　施策のほうの概要施策の24ページの小学校と中学校のオートロックの設置の件なんですけど、これは中学校、小学校のどの部分にオートロックをつけられるんで

しょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基本的には正門につけます。ただし、道路の幅員等でどうしても正門が難しいという場合にはほかの門につける可能性もございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 それは学校からの要請でしたのでしょうか。それとも、市のほうからの提案でしたのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） こちらは市のほうからの提案と、また、令和5年度に小学校に不審者が侵入したという事件を受けましてこういったものを設置するということで、学校からの要望も含めて設置することとしました。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のところに関連するんですが、令和5年度に侵入者、不審者があったということで、安全確保のためのつけることには一理あるかと思うんですが、一方で開かれた学校というふうに目指していくのに真逆にならないかなという考えもあるんですが、豊明市として、また、教育委員会として考える開かれた学校というのはどういうふうに捉えてこの工事に臨まれるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 一般質問の要素が強いですが、どうでしょうか。答弁できますでしょうか。

浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） ちょっと一般質問にならないような形でお答えさせていただくと、今年度、その部分の予算として何か設けてるかという設けてはいません。ただし、一般質問の際にお答えはさせていただいてと思うんですけども、学校の使用するところと、それから、休日に使うところ、そのあたりについては明確に分けて、趣旨が違うのでという形で分けてやっているというところもありますので、そのあたりを含めて御理解いただければというふうに思っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今回の関連で、オートロック、正門につけるんですけど、例えば三崎小学校だと正門へつけても裏が蛇腹のところで入れるんですけど、そういったところをどう考えてみえるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 三崎小学校につきましては、正門自体を改修する予定でございます。なので、あそこに車を横づけすると交通の障害になるものですから、正門を奥に少し引っ込めるような形の改修事業というのを考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 裏側の対応。

（裏が蛇腹ですが、変えていくのかの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） 一応、今回設置するのは、正門か、学校のほうの希望を聞いた上で位置のほうは設置してるんですけども、今、こんどう委員おっしゃるとおり、まだほかにちょこちょこあります、入り口というのは。なので、そちらのほうは学校の管理の上で鍵をかけているところというところで整理をするような形になっております。このあたりについては今後ちょっとまた検討する課題だなというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 当初予算書のページは250ページだと思うし、8目の青少年対策費の説明だったと思うんですけど、先ほど、これまでの発行物の印刷などを見直して減額という説明があったように思うんですが、どんなものの発行物だったかと、たしか電算化のほうにというようなので、そういう要素がどういう考えでこの当初予算なのか、教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 昨年までは、子ども情報誌というものを検討はしてたんですが、ちょっとこの御時世、なかなか紙での印刷というのはどうかということで取りや

めたというようなことをございます。

あと、もう一つ、すみません、もう一度お願いできますでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 郷右近委員、もう一度いいですか。

○郷右近 修委員 紙の発行物をやめて、別な形で何か情報が届くとかという考えなんだろうなと思ったんですが、その形とか方法みたいなのがあったら教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 改めて答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 電子といいますと、やっぱりホームページだとか、別に印刷するのではなくて、広報に折り込むだとか、そのような方法を考えております。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書227の下教育振興事業のところの委員等報酬のところだと思うんですけど、コミュニティ・スクールで若干委員等報酬が増えてるので、対象になってるコミュニティ・スクールをやる学校が増えるのか、変わらないのか、どういう状況でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 2つの学校を増やす予定でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 どの学校を増やしますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 舘小学校と二村台小学校です。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 予算書の259ページの学校給食費の上から4段目、新規で上がってるんですけども、口座振込伝送システム使用料203万6,000円、これはどういった内容のものでしょうか。お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは給食費の口座データを金融機関に送信するためのシステム使用料でございまして、昨年度までは手数料の中に含まれておりました。それを取り出ししたというところで新規になっております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その一番上の残飯回収配送等委託なんですけど、この残飯の価格ってどうやって決められてるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） こちらは単価契約でしておりまして、事業者さんとの見積りで決定しております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどのオートロックについてなんですけども、コミュニティ・スクールも増やしていくということですし、土日とか長期休みも体育館の開放だったりとか、あとは地域の活動とか、そういうことで使われると思うんですけども、そのあたりの連携というか、運用って実際、今、栄小と二村台小でやられてると思うんですけど、どのようにやられてるのか、また、今後どのようにやっていくんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これについては各学校の運用はそれぞれ多少ありますけれども、例えば休日の昼間であれば、テンキーボックスが外にありまして、そのテンキーを押すことによって解除できるようになっております。ですので、そういったこの学校は何番だということを情報共有しながら出入りはきちんとできるようにします。ただ、セキュリティという意味で必要な人にはきちんと入れるような体制を取るということで運用したいと考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 予算書229ページの説明欄一番上、特色ある学校づくり事業委託料、今年何をやるんでしょうか。お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 特色ある学校づくり事業というのは、学校ごとに学校の例えば授業であつたりとか活動に対して、それぞれ学校の特徴を生かした授業を行うための教材費の購入費でございますので、基本的には。なので、例えば小学校であれば、体験活動における教材費であつたりとか、校外活動や行事における物品費だつたりとか、そういったことに使うというところで学校ごとの特色を出していただくというものでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今の関連で、資料の1－8、特色ある学校づくり事業委託概要、資料を頂きました。これ、5項目を1項目に集約してますけど、この集約した理由を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この資料1－8の目的に記載してございますように、複数の補助事業を一本化することで教職員の事務負担の軽減を図るということと、より柔軟に補助金を使えるということで、特色ある学校づくりの推進というところが目的でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 それと、委託先がばらばらで、それも一括して効率化ということなんですか。委託先。もう一回やりましょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） じゃ、もう一度どうぞ。

○こんどうのぶお委員 従来は3つの委託先があると思うんです。これは委託先がばらばらだったのか、それを一括にしたと、そういうことになるんですか。集約したということですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 今までの例えば現職教育研修事業であつたりとか、協同の学び推進事業も全て各学校が委託先になりますので、もともと委託先は一緒でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 概要の68ページの上段の生徒会提案事業補助金300万ですけども、3中学に市長と話そう会で各中学校100万ずつなんですけども、事業が提案されてからどのようにこの予算が執行していくのか、その手順、生徒会からの提案があつて、どのように執行していくのか、ちょっと手順を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 手順としましては、まず、生徒会のほうでどんなことをやりたいかということを決めていただいて、それを学校側、最終的には校長先生の許可をいただいて、その内容に基づいて補助申請の申請書を出していただきます。それを教育委員会のほうで審査し、決定したらお金を支給するというような形になります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 これは上限が100万ということでよろしいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 300万、1校100万を上限として考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の関連です。市長が各中学校に回られ、話そう会で提案が出てきたものというふうな、代表質問だとか、御説明あつたんですけども、この生徒会提案事業費補助金という制度をまず誰が考えたものかということと、なぜお金が必要かという点ではどういうふうにお答えになりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは教育委員会のほうで検討、決定したものでござい

ます。これについては、目的としては、生徒目線で何が必要か、先生目線ではなくて生徒目線で何が必要かというところをきちんと考えていただくいい機会にもなるのかなということと、学校運営、学校生活について生徒自身が課題を見つけるというようなメリットがございます。そういった意味ではこういったものは効果的なのかなというふうに考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 今の関連ですけれども、そのことに関して生徒が直接市長に要望するということとか、この経緯を経て議員まででこの議案が通ると予算が下りるという流れが、違いますか。生徒が市長と話し合って要望をつくり、生徒会が。校長の認可を得て、それで市に上がり、議会にかかる、かからない。予算がかかって、今回このロッカーができたとか、電灯がついたりとか、LEDの街路灯がついたりとかするというこの流れが主権者教育の縮図みたいな感じなんですけど、これをするときにこの主権者教育をついでにというのはあれですけど、社会ってこういうふうになってるんですよという教育をするものも含まれてるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答えれる範囲でお願いします。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは生徒自身が学校生活の課題を考えるいいきっかけになると思いますので、主権者教育の1つの役割を担っているというふうに考えます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今の関連で、これ、生徒会ということなんですけど、各クラスとか、それでいろんなものを出して打合せしてるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 生徒会がどのように意見集約をするかというのはちょっと我々が関与できる部分ではないので、それは生徒会にお任せしたいというふうに考えます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 関連です。令和7年度の具体的な使い道は、防犯灯設置は先ほども一般会計、先週金曜日であったんですが、確認も含めて、草刈り、ロッカー、もう一度令和7年度の具体的な使い道をお答えください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これからの話ですし、これから生徒会の中で検討していく話なので、現時点でこの用途に使う予定があるということはございません。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） この予算については学校活動の中で使う部分ですので、街路等云々のところは希望として出ておりますが、そちらは対象になっておりませんということが1つと、それから、あと、これから学校のほうでまとめてまいります、ロッカーの設置みたいなのは具体的に6年度の市長と話そう会に出てきたものです。これはあくまで一例ですので、それになるかどうかというのは生徒会のほうで決めてくような話になると思いますので、これから出てくる案件かもしれませんし、前回の市長と話そう会に出てきた案件かもしれませんが、それを決めるのは生徒会でという形、そのような形の御理解でお願いしたいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 同じ生徒会提案事業ですけども、なぜ市長と話そう会なんですか、教育長とじゃなくて。そもそも政教分離が、学校には関われないはずですけども。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

教育長。

○教育長（藤井和久君） 私も実は会に参加していて、教育関係の質問は私が答えます。お金がかかることについてはやはり市長が話すというようなことが、あと、市全体の例えばイオンを誘致してほしいとか、そういった具体的な話があるんですよ、できないですかとか。市全体に関わるような話が結構多いもんですから、タイトルとしては市長と話そう会、ただ、教育に関しては私が答えてます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 この件は資料ナンバー４の⑩で補助要綱の概要というか、そんなのが出てますけども、資料ナンバー４の⑩の下段、囲ってあるところの生徒会提案事業費補助概要というところの２の（５）がちょっと気になって、この補助金の趣旨に合致しない事業というのがちょっと気にはなったんですけど、これはどういう想定で合致しないとかというふうにされてるんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この補助金の趣旨というのは、あくまでも学校生活の改善、向上を目指すためというところがあるので、それ以外の例えば目的のもの、極端な例を言えば、例えばゲーム機を大量に買うとかみたいな、そういう一部の個人のものではないにしても、この補助金の趣旨に照らして適正でないものがやっぱり対象から外れるのかなというふうに考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 ４－１６の資料で、これ、インターネットバンキングってあるんですけど、全額と書いた。これってどういうことなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、今、学校でかなり通帳、目的ごとに通帳で管理しているお金があるんですけども、それをインターネットバンキングを活用して管理することでセキュリティーの部分、不正がされないような形で活用したいというところでこの補助金に加えたというものです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） すみません、今の資料のほうのちょっと補足をお願いしたいと、補足といいますか、説明させていただきたいと思います。

上半分については、全体の学校に対する補助金の要綱、負担要綱というところの改正分をつけていますので、ここでの生徒会提案事業の件は別表１の部分のところの追加というところで、ちょっと全部載せていますので、下部分はちょっとそれとは異なるものという形で御判断いただきたいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の生徒会提案事業のちょっと確認ですけども、先ほど、生徒会から出てきた街路灯の設置とかは補助の対象外ということだったかなと思うんですけど、それだとこの（５）の趣旨に合致しないというふうになるんですかね。どういう判断、例えばですけど、そういった街路灯はどういうふうになるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この補助金は、この資料の趣旨のところにありますように、あくまでも学校生活の改善、向上を目指すというところが目的ですので、街路灯については学校生活とは基本的には関係のないというところで、それとは切り分けた形で考えています。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 当初予算の概要で、ページは72です。図書館資料購入費です。1,300万円と減額している理由を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 今年度まで南部公民館リニューアルに伴う図書の充実のために予算を増額しておりました。3年が終わりましたので、その分減っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 令和4年度から見ても、おおむね1,700万円で推移していたかと思うんですが、例えば合計額として南部のほう、南部のほうで備品購入で分かれて計上されている年度もありますけど、これは純粋に減ってるということに思えたんですけど、違いますかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

水野図書館長、お願いします。

○図書館長（水野美樹君） 郷右近委員のおっしゃるとおり、令和4年度から3年間、増額をしておりました。それはクラウドファンディングも合わせて入も取り入れながら増額という形になっております。このたび、その3年が終わっておりますので、380万円減額となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の図書館資料購入費で400万減しているところですけども、これは他市町とそういった購入費の比較とか、市民の1人当たりの図書館購入費と他市町と比較してこういうふうに減額したというふうでよかったですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 他市町と比較して減額したということではございません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 他市町と比較するとまだまだ少ないと思うんですけど、その点についてはどうに考えてますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 近隣の他市町と比べて確かに豊明市は1人当たりの購入費が少ないという傾向がございます。その理由としましては、例えば豊明市の場合は図書の収容、本がどれだけしまえるかというのが大体21万冊となっております。実際には26万冊以上あるんですけども、収容能力としては21万冊となっております。それに比較しまして、例えば日進とかですと48万冊、豊明の倍以上の収納の余裕があるんですね。なので、本を購入する量につきましても、豊明の場合は抑えざるを得ないと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 例えばそういったところももう少し出せる量を増やす工夫だったりとか、そういうことというのは考えられなかったんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 申し訳ございません、もう一度質問をお願いいたします。出せる量というのは。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員、お願いします。

○林 ゆきひろ委員 今、他市町と比べて、そういった収容できる量が少ないということなんですけど、その辺りを増やしていくという努力はされなかったんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 努力はしております。例えば、できるだけ本を置ける場所、書棚を増やしたりとか、そういったことはしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今回の図書館の資料購入で何冊買う予定で、それで、あと、1人当たりの数字はどうなるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 本につきましては、発行部数、それから、単価がそれぞれ違いますので、実際に何冊買うかというのは買ってみないと分からないというところになるかと思います。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算額のことについては先ほどの答弁で分かりました。ありがとうございます。それでいて従前の予算額ベースになったことの上でなんですが、昨今の物価高騰などの影響による増額分というのの考慮というのはいかが考えてこの金額ということなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 郷右近委員のおっしゃるとおり、本の単価につきましては5年前と比べて平均100円上がっております。ただ、予算につきましては同額という形で、増額分を見込んではおおりません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 概要の74ページ、愛知万博駅伝参加料の50万なんですけども、これは毎年、ランナー集めなんですけども、豊明市内の企業の中でマラソンに力を入れている会社がなく、毎年、参加集めに苦労されていると聞いているんですけども、その辺のところ、今年、7年度はどういうふうにしようと考えていますでしょうか。お聞かせください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 委員のおっしゃられるとおり、選手集めというのは大変苦勞しているところでございます。かといって、なかなか市外の企業さんだとかにはお声がけというのはどういったつてでつながっていくかということがなかなか難しいということがあります。ただ、こう言ってもなかなかいかんものですから、なるべくお声がけをさせていただきたいというふうに思っております。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 概要の73ページなんですけども、青少年対策費、これ、ゼロベースと名称変更になったのがあるんですけども、各地区の青少年委員会で開催していた、私のときも申請したんですけど、青少年のモデル地区が予算に入っていないと。7年度だけ開催しないのか、8年度以降は要望があれば再開するのかと、家庭教育推進市民大会の名称が少年の主張に変わったと思うんですけども、その理由を教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） モデル事業の補助金については6年度限りというような形で考えております。来年度以降は廃止ということでございます。これは新しい取組といった観点からちょっとなかなか発案といいますか、提案がなされていないというようなことでございますので、ちょっとそのあたりを見まして廃止をすることといたしました。

あと、名称のことですね。中学生の主張というふうにしたのは、従来の青少年の主張という形になりますとなかなか中身が分かりにくいというようなことがありますので、名称変更させていただいたということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 家庭教育推進市民大会という名称を少年の主張の報償費に変えて報償費という予算が出ているんですね。家庭教育推進市民大会って毎年やっていますよね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 家庭教育推進市民大会、その名称が分かりにくいということでございます。申し訳ございません。失礼しました。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員　ちょっとこれ、今までも上がっていたので、内容は同じかもしれないんですけど、予算書の231の一番下段、タクシー等使用料、237ページの小学校費、中学校費の中でもタクシー等使用料が入っています。こちらの内容と人数が分かれば教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君）　内容につきましては、この231ページのタクシー等使用料、これがプレクラス、プレスクールに二村台小以外の児童生徒が通うためのタクシー使用料でございます。一方、学校管理費の中のタクシー使用料というのは、緊急、例えば急に病気になったりとか、そういった緊急のときのタクシー使用料ということで分けて予算を計上しておるところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員　概要の74と68の違いをちょっと教えていただきたいんですが、74のスポーツ振興事業の部活動の指導者謝礼は大幅に増えているんですが、部活動の運営費補助は変わらない、この理由についてお願いいたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君）　74ページのスポーツ振興事業の部活動指導者謝礼、こちらはモデル事業で、地域クラブのモデル事業として実施しております柔道とソフトテニスにつきまして単価の整理をさせていただいたというような部分と、教育総務費のほうから学校部活動につきまして、休日の学校部活動について教育総務費で見ておったんですが、こちらのほうに移動してきたと、移管替えをしたというようなことで、こちらが増えているというのはそのような理由でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員）　秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君）　予算書229ページの教育振興補助事業の上から2段目の部活動運営補助金が900万円に変更はないというのは、これはいわゆる小中学校の部活動の例えば消耗品、使う消耗品であったりとか、備品であったりとか、県大会とかの参加費だったりとか、そういったものの費用ですので、平日の部分ですので地域移行とは直接的な部分では関係がないというところで金額の変更はないということでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） すみません、先ほどの説明で、私、別のところを見ておりました。すみません。74ページのスポーツ振興事業、部活動運営事務委託料でございます。こちらは部活動、地域クラブでの事務費用でございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 地域クラブの上のところ、資料ナンバー4-17で出てるんですけど、令和8年度からもう土日をたしか中学校はなくすという話で、部活を。そういう話だったと思うんですけど、この地域クラブの運営を見てると、変わらず柔道とソフトテニスなんですけども、これって増やすことというのは考えなかったのかということと、土日がなくなった上で、市として土日、何かしら部活、今ある部活は継続してできるような形なのか、どのように考えてますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 地域クラブについては、今のところ、柔道とソフトテニスについて動いておるんですが、ほかの種目について活動ができれば増やしていきたいというふうに思っております。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、年度途中でもそういったのが出ればやっていくという考えなのかということと、現状このような状況で土日は継続して何かしら部活はできるのかどうか、どういうふうに考えてますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 年度途中でもできることであれば地域クラブのほうでの活動、モデル事業としての活動をしていきたいというふうに思っております。土日の活動、今の部活動のことにつきましては、学校部活動については従来どおりでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 学校の部活動は土日はやらないということになったんですけど、地域に移管して、土日、今ある部活動が地域に移管して全種目ちゃんとできるようになって

いるのかどうか、どのように考えてるかというところをちょっとお聞きしたいです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） ちょっと補足させていただきます。

週末の部活動、今、委員おっしゃるとおり、学校のほうには8年度以降については基本的には地域のほうでという話は伝えてあるんですけども、これについては一応今の部活動の内容をそのまま引き継げるようなイメージで地域のほうに持っていくか、あとは委託とかで他市でもいろいろやってますけど、そういったことの方向性というのは今調整中でありますので、一応そのような状態でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今の地域クラブのことなんですけど、これ、土日の大会の参加があるのか、あと、生徒のそういう意向とか、あるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 土日の大会のことでございますが、現状、土日での開催というようなことが基本となっております。

あと、制度の移行といったところでございますが、現状、アンケートは取っておりますけれども、先ほど部長のお答えしたとおり、今ある部活動をなるべく地域クラブでの活動ができるように検討していきたいというふうに思っております。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 同じく地域クラブの運営事業ですけども、資料ナンバー4の⑪のほうで地域クラブ運営事業の詳細の予算の内訳が書かれてますけども、本会議のときに報酬単価を見直したというような御答弁があったと思いますので、報酬単価をどのように変えたのか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 柔道とソフトテニスの単価が違うといったところがございました。ソフトテニスにつきまして、従来は1回1,500円ということでございました。こ

れを1時間当たり1,600円、プラス交通費ということでさせていただくということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 柔道のほうはどういうふうだったのがどうなったんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 柔道のほうは1時間1,600円、プラス交通費ということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 分かりました。

同じく地域クラブ運営事業ですけれども、第10次実施計画のところ、第10実施計画の38ページかな、38ページの一番上になるかと思えますけれども、来年度が971万9,000円で、その次の年度から5,400万ぐらいになるわけですが、恐らくほかの種目も地域のほうに移行していこうというようなことだと推測はしますけれども、2025年度中で地域に移行するための費用というのは計上はしてないんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 来年度、地域に移行していこうという種目については柔道とソフトテニス、今回上げさせていただいた予算ということとなっております。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 すみません、地域クラブのところでもう一点だけ、アプリの使用料というのが新しく加わってるんですけども、これはどのようなアプリなんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） こちらは保護者と指導者の間の連絡ツールでございます。出席の連絡だとか、この日に練習をやるよだとか、そのようなことを管理できるアプリケーションでございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

ごめんなさい、先に、すみません、浅井部長、答弁ですね。

○教育部長（浅井俊一君） ちょっと今、清水委員がひょっとしておっしゃりたいのかなというふうにふと思ったんですけど、先ほどの補足です。

来年度につきましては、まず、この予算上に上がっている部分としては、既存の地域クラブのモデル事業の継続の意味合いで今載せているという形で、多分お聞きになりたかったのは、翌年度、令和8年度に対しての準備みたいなものも含めてということをお聞きになりたかったんだと思うんですけど、その部分としては今ここで特に計上している部分としてはないはないんですけれども、先々、実施計画のほうに上げてあるとおり、先々その部分を広げていくところ、これは委託も含めて多分やらざるを得ないような形になっていいますので、その部分も含めてこれからまた検討しながら、必要に応じてまた予算のほうは御配慮いただくような形になるかなというふうに思っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

いいですか、清水委員。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実施計画書です。ページは35ページ、38の学校給食事業、下のほうで市費による補助を継続し、負担額の維持に努めますなので、投入するであろう金額はどこに書いてあるかというのがちょっとぱっとは見つけられなかったんですが、概算でどのぐらいとか、あるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 現時点で、37ページのほうにありますけれども、投入する金額というのは、今、給食費の保護者負担を軽減しておりますので、その保護者負担の軽減額と賄材料費との差額分を継続して投入していくということを考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の給食費のこの賄材料費のことでちょっと聞きたいんですけど、令和6年4月、今年度から給食費自体が上がってました。小学校は250円から310円、

中学校は280円から350円ということで結構上がってるんですね。市費負担をしているので、保護者の負担は変わらないと思うんですけど、ただ、それと、一方、この賄材料費自体がそんなに上がってないんです。どういうふうな計算でこの賄材料費って出てるのかなと思うんですけど、給食費掛ける人数という形でこの賄材料費というのは変わっていると、そういう理解をしていいんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 給食費掛ける給食の回数掛ける人数、それが賄材料費になります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 今のお話にちょっと思ったことが1年刻みぐらいである程度金額に少し変動の原因になるぐらい児童生徒の数が減ってきているということなんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 児童生徒の数は、若干ですけれども、減っております。ですので、その減る分と賄材料費の上昇分とがどうなるかというところはまだ不透明なところはございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の257ページの給食センター活動事業の上から3番目、給食調理洗浄業務2,910万円なんですけど、これ、前年度と比べると1,000万以上上がってるんですけど、この理由は何でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これにつきましては、給食センターで働いてみえる方、正職の方がいらっしゃるんですが、その方が3名ほど退職されます。そういった部分で会計年度任用職員の部分を増やさないといけないというところでのこの部分が増えているというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 今、会計年度さんを増やすと言われたんですけど、何名増えてこの予算になりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは後ほど御回答させていただきます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 229ページの上のプレクラス・プレスクールのところですけども、これも前年度と比較して増額しているのは人件費の増なのか、実際に利用されてる子どもが増えてるのかどうか、状況を聞かせてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これの上昇の背景は人件費の増額です。利用されている児童がとりわけ増えているという状況ではありません。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 1点だけ、先ほどタクシー等の使用料が二村台小以外のという話でしたが、それは何名ほどいらっしゃるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁できますか。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） ちょっとその数字は把握しておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 積み残し、いいですか。

どうぞ。お願いします。

○学校教育課長（秋永亘正君） 先ほどの質問で、給食センターで雇用される会計年度任用職員は3名増を予定しております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 委員会の質疑の途中でございますが、10分間休憩といたします。

午前10時59分休憩

午前 11 時 9 分再開

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） では、休憩を解き、休憩前に引き続き委員会質疑を始めたいと思います。

ほかに質疑のある方、挙手願います。

では、ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 また戻ってすみません。229ページ、生徒会提案事業補助金で、資料ナンバー4-16も一緒です。補助要綱、補助の概要、下の枠の中の2の先ほど（5）で例えばとして街路灯の案件が出たんですけれども、これも代表質問だったか何だったかちょっと確かじゃないですが、草刈り、通学路の草刈りの要望というか、声もあるから、頻度も増やしてくというような御答弁があったかと思うんですが、そういうのも街路灯と同じ扱いですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） そのとおりでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 あと、今の資料の同じところのこの提案補助の制度のルールづくり、その補助の対象となる事業、いっぱい書かれているんですが、そもそもこのルールづくりには生徒さんは関わっていますか、いませんか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 生徒は関わっておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 227ページの事務局事務事業、真ん中の下から3つ目の愛日地方教育事務協議会というのがあるんですけど、これはこういった組織でこういった目的なんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

奥平学校支援室長。

○学校支援室長（奥平 剛君） お願いいたします。

愛日地区の11市町の教育長、教育委員が集まりまして会議を年6回開催しております。
愛日地区11市町の教育の標準化を目的とした会でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その次の目の教育振興事業の一番上、小中学校英語指導助手と
いうのがあるんですけど、これというのは英語の先生を呼ぶということなんですが、外国
の英語の先生を呼ぶということで、イギリス英語だとか、アメリカ英語とか、オーストラ
リアも違うんですけど、その辺って考慮して選ぶんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） そこまでの考慮はできておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 英語、大分違うんですけど、戸惑いってないんでしょうかね、子
どもの。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 戸惑いの部分については現時点では聞いておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 229ページの真ん中辺りの英語検定の受験料補助金ですけども、こ
れ、昨年度のと比べると減ってるんですけども、利用実績がどれぐらいあったのか、消化
率はどれぐらいなのか、今回の予算は何人分で計上されてますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 利用実績としては119人です。84万2,600円が利用実績と
なります。積算の人数ですが、これを5万円で割った数になりますけれども……。

（5万円の声あり）

（端数が出ちゃおかしいの声あり）

○学校教育課長（秋永亘正君） すみません、後ほどお答えします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） では、そういうことで。

ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じ229の一番上、先ほどの特色ある学校づくり事業委託料と資料ナンバーの1の⑧、先ほども御説明あったんですが、その中で協同の学び推進事業委託料というところ、予算書のほうにはそういった委託料の名称が全部なくなってしまってますが、この資料ナンバー1の⑧で見ると99万円のうち33万円という表記があるわけですよ。なので、この令和7年度特色ある学校づくり事業委託料721万8,000円の中に、お聞きしたいのは協同の学びの推進の実態、今までの年数を積み重ねてきた成果というか、来年度、予算上には抜け落ちとるというか、その66万円の部分が行方不明なんですけど、その辺の説明をお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁、お願いします。

浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） こちらにつきましては、この協同の学びの部分、見えなくなっておりますけれども、もともとのこの一本にした趣旨というのが各それぞれの、もちろんこれは各学校単位で進めてるんですけど、そこの部分の申請に関する手間ですとか、それから、あと、予算の逆にちょっと、地域一括交付金じゃないですけど、流動性を持たせた形になっていますので、内容として変わっているわけではなくて、単に金額のほうを合算といいますか、一本化したという形がこの趣旨でございますので、よろしくをお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 委員の方をお願いします。質疑は要点を整理してから質疑のほうをお願いいたします。

ほかにございませんか。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 先ほどの英検の積算の根拠ですけれども、230人を予定しております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の関連ですけれども、昨年が89人ということで半分ぐらいですけど、さらに倍取れるという何か取組というのはあるんですか、来年度。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これにつきましては、基本的に3級を受験したときの受験料をベースに考えております。ですので、より受験していただくためには周知のほうを徹底したいというふうに考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 227ページの一番下、現職教育研修事業委託料がありまして、先ほどの資料1－8も今回の特色ある学校づくりに変わるということで、そこにも一番上にあるんですけど、これを引くと70万で、こっちは140万と数字が違うんですけど、どういったことになるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この現職教育研修事業の一部を特色のほうに移行させます。残った現職教育がそのまま158万4,000円ではなく、プラスをしておりますので、その数字は異なってくるというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のそもそもの委託料、何人受けて、どういった内容なんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この研修は、現職教育研修というのは、主に階層別であったり、例えば特別支援教育研修であったり、非常勤職員の研修であったりと、様々な内容の研修をしております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じところですが、資料ナンバー1の⑧、この協同の学びのところなんですけれども、要は一括交付金じゃなくて、一括にして校長先生の裁量で仮に協同の学びに今まで以上に力を入れることができたり、修学旅行の事前調査にけるお金も校長先

生の裁量で、極端な話、なしにしたりとか、そういうふうにできるという理解でよろしいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これはいろんな枠組みごとに分かれていると、なかなかこの枠組みからはみ出る事業だったりとか、この枠組みでは余る事業だったりとかということが出てきますので、それを一緒にすることでより柔軟に内容に対して経費を使えるようにするというところが目的ですので、より柔軟な対応ができるというふうに考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） すみません、ちょっと私も先ほど一括交付金的なイメージといふふうに申し上げたんですけど、どちらかというと、それぞれの金額というのはある程度固定したもので学校のほうでは認識されていて、よく年度末ぐらいにこっちのお金が足りんけど、ここにお金を充てたいんだけどみたいなことが実は結構あるんです。なので、そのあたりを柔軟にすると、そういう意味でのまとめたというような形のイメージでお願いしたいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ページ数がないんですけども、多分、予算書でいくと227になるかと思うんですが、イングリッシュキャンプの予算がざっくりと消えてなくなっているんですけども、これはどうしてなのでしょう。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 従来までのイングリッシュキャンプは宿泊を伴うものという形で予算を計上しておりましたが、今年度から宿泊はしない形で文化会館でそのイベントをやっているというところで、そのための費用をなくしたというところでございます。ですので、内容としては日帰りの内容を小学生も中学生もそのイベントに参加をするというような形で実施します。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 日帰りで文化会館でやるのの予算というのはどこに計上してあるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは外国人指導員の委託というのが229ページの上から3段目、小中学校英語指導員助手派遣業務委託料、この中の予算で実施をするということになります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 予算書の247ページの図書館資料購入費なんですけれども、この金額の中の雑誌の割合が幾らか、一般書籍の中で文芸書が大体幾らぐらいになるか分かりますでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 申し訳ありません、もう一度質問をお願いいたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） もう一度お願いします。

○岡島ゆみこ委員 購入予算費のうちの雑誌に充てる予算額と、あと、一般書籍の中でも文芸書の割合が何%かというのが、金額とかが分かれば教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 雑誌につきましては消耗品で購入をしております。先ほどの文芸書につきましては、図書館資料購入費のほうで購入をしております。その数につきましては、少しお待ちください。後ほど回答いたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 先ほど、予算でまだ単価とかの関係があって分からないと言ってみえましたよね。

（決まってないと、分からないと言ったから答弁してるの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） どうぞ。

○図書館長（水野美樹君） 申し訳ございませんでした。実績でしたらお答えができますけれども、昨年の実績でよろしいですか。

（予算の審査だからねの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） もう一度質疑に行きますね。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 大体、書籍の中で文芸書に費やされる費用というのが何%ぐらいなんですか。

（分からないんじゃないのの声あり）

（それは分からないの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 申し訳ございません。内訳につきましては、ちょっと今のところ分からないという現状になっております。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 予算書229ページの上の真ん中辺、キャリアスクールプロジェクトの事業で、これ、来年度はどこの学校でどのような事業になる予定なんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これにつきましては中学2年生の職場体験の内容でございまして、3中学校全てで実施する予定です。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 229ページの下のところの適応指導業務なんですけども、まず確認したいのは、これ、校内フリースクールの先生ということでいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは教育支援センター指導員と、あと、校内フリースクールの指導員の方の費用でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 増額しているので、どのぐらい先生の人数が増えたのかということと、実際に校内フリースクールの利用している人数がどのぐらいいるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、教育支援センター指導員が3人ほど増やす予定をしております。あと、校内フリースクールの実績ですけれども、登録者数というところでは、豊明中学校が9人、栄中学校が13人、沓掛中学校が30人というところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 校内フリースクールの先生というのはどういう先生、要件とか、資格を持っていたりとか、どういう人が入ってますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基本的に教員のOBを考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 229ページの一番下から4つかな、スーパーバイザーという方、これはどういった方で、資格とか、あと、配置はどのような。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これはスクールソーシャルワーカーのアドバイザーとしての役割を担っております。大学教授の方による指導を考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 聞き逃したり勘違いだったらすみません。当初予算の概要の71ページの社会教育活動事業の幾つも皆増がある。例えば講師謝礼とか消耗品、食糧、あと、駐車場がそれぞれ何をしようとしているんでしたっけ。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 社会教育活動事業の、今、委員のおっしゃられた部分でございますが、市制50周年の合唱大会、合唱に関する費用を計上をしてるということで

ざいます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

関連ですね。郷右近委員。

○郷右近 修委員 20ページ辺りで出てる合唱で生涯学習の分野と書かれているのがこれだということですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 委員の言われる20ページというのは……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 同じ概要の二十何ページか辺りで、5ですか、書かれている生涯学習の分野で市民の合唱大会というのがそれですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 概要の25ページでございます。市制50周年の記念の合唱会、こちらの開催に係る費用を上げさせていただいたということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の社会教育活動事業のところで講師等謝礼が28万ですけども、新たに増えて、これも合唱の関係で先生を呼ぶということなんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） こちらは合唱の前に練習を3回ほど、そして、当日に全体の指揮者、あるいは指導料……。

（講師費用ということねの声あり）

○生涯学習課長（相羽敏明君） はい。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の同じ関連です。市制50周年記念ということで、これはもう単発で1回限りのものかということと、あと、この合唱会に参加する対象者、マラソンのときは広く募ったんですが、市内在住、在勤とか、そういう対象者はどんなふうか。記念大会

ということなんですけども、その狙いというか、どういう効果を期待してこれをやるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 今回の合唱会については単発ということでございます。

そして、対象者といったところでございますが、出演団体といったところで、市民フェスティバルに参加していただいております合唱のグループ、そして、市民から公募で100人合唱というものを予定をしております。あと、文化会館の合唱グループも参加の予定でございます。

そして、狙いといったところでございますが、コロナでふさぎ込んでおった気持ちをちょっとこちらのほうで発散をしていただくというようなことと、あと、会場がフジタホール2000ということで、市内にこのような立派な施設があるよというようなことを認識していただくというような意図がございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 予算書229ページ、教育振興補助事業の中の真ん中辺で食物アレルギー学校生活管理指導表作成補助金というのがあるんですけど、これは何名の方の利用で、どのぐらいの補助があるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 補助金額が3,000円が上限でございます。今年度の実績として6人の方の実績がございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 たしか前の補正予算のときに、補正予算じゃないか、委員会、対応委員会、アレルギーの対応委員会の条例のときに、アレルギー対応の子ってもっとかなりたくさんいたと思うんですけども、今回6人しか出てないというのはどういうことなんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この要綱による補助申請が出された方が6人ということで、それぞれ負担のない形で、費用負担のない形で出されている、作成していただいている分がそれぞれあると思いますので、そういった形での乖離といたしますか、違いがございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 確認ですけど、つまりたくさんほかにもいるけども、こういった補助をしなくても負担なくそういった管理書が作成できると、そういう理解でよろしいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） すみません、訂正いたします。新しくアレルギー対応をされる方の部分が6人というところでございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 この管理表、管理指導表は毎年出さないといけないと思うんですけども、新しいのじゃなくて、毎年必要な人って必要だと思うんですけども、そのあたりはどうなってますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。分かる方、答弁してください。

奥平学校支援室長。

○学校支援室長（奥平 剛君） 管理表というのは、給食で配慮が必要な場合、管理表を提出するということになってるので、アレルギーをお持ちのお子さんはかなりいらっしゃるんですけど、給食で対応する場合、6人ということになっております。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 概要の24ページの94番と95番、小学校ICT教育環境整備事業、同じく中学校もありますけども、これ、借上料等というふうになっていて、予算書のほうでばらばらばらと多分いろんなところに散ってると思うんですけど、どんなことをやるのかというのをまずお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

（もう一度の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ちょっと真剣に進行に協力してください。

じゃ、清水委員。

○清水義昭委員 概要の24ページの94番と95番、小学校のＩＣＴ教育環境整備事業と同じく中学校も同じようにありますけども、これが借上料等ということでいろんなところに予算書の中で散っていると思うんですけども、まず、どんなようなことをこれはやる予定なのか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） いずれも小学校情報システムの保守点検業務、情報システムの保守点検業務と学習者用端末の保守委託、あと、ＩＣＴ活用支援業務委託といって先生方のＩＣＴ支援の活用のおアドバイスをする方の業務委託と、あとは教職員の指導者用のパソコン機器の借上料及び……。ごめんなさい、その主に４点がこの内容になってございます。それは小学校も中学校も同様でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 その事業についてはまるっと一般財源になるわけでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 一般財源でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の229ページの下から２つ目の枠の一番下のふるさと応援奨学金の30万円、これは同額なんですけれども、次のページの231に昨年は大学等入学支援金選考委員会委員報酬があったんですが、これ、もし関連なかったらそうやっておっしゃっていただければいいんですが、その選考委員会がなくなった理由をお願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 選考委員会はございますけれども、その内容、委員報酬をまとめたというところでございます。教育振興事業のほうにまとめたという形でこの予算書からはちょっとなくなっております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こңどう委員。

○こңどうのぶお委員 今のふるさと応援の奨学金なんですけど、これの実績と、あと、何件分の予定でいるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは30万円を上限としておりますので、1人分ということ考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 概要24ページの今度92番、放課後子ども教室の委託事業ということで、令和6年度から令和7年度にかけて放課後子ども教室の数というのは変わりますでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 放課後子ども教室は、委託の部分でいうと、栄小学校が直営から委託になります。あと、館小学校はセーフティプラスワンから放課後子ども教室を委託しますので、委託の部分でいうと2学校分が増えるということになります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 セーフティプラスワンはどうされるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 制度としてはなくなります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 この放課後子ども教室の委託でお聞きしたいんですけども、令和6年度から令和7年度にかけてその2つが委託になるということで、本来聞きたかったのは、館小学校で始めるのでどれくらい予算額が上がるのか聞きたかったんですけども、今のお答えでいくと2校増やしたということで、放課後子ども教室に係る費用というのがどれくら

い上がってくるのかというのを伺いたいです。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 放課後子ども教室がここの委託料の部分の差額、令和6年度と令和7年度の放課後子ども教室の委託料の差額分が上がっているというのと、それは全体的に人件費も上がっているんで、2校でどれくらい上がるのかというのはちょっとなかなか出しづらい部分はあるんですけども。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の放課後子ども教室といいますか、予算書233ページで放課後育成事業全般ですけども、まず、これ、基金が5,000万入ってるんですけども、この使途というのはこの放課後子ども教室なのか、児童クラブのほうなのか、どこに当たってるかって分かりますか。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） お答えをさせていただきます。

今、御質問いただきました件につきましては、資料ナンバー6-5ですね。6-5の中で放課後子ども教室委託事業について92番のほうで委託を整理をさせていただいております。残りがこの予算事業の中の一般財源分に充当させていただいているという整理になります。

終わります。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ごめんなさい、ちょっと今の説明、分かりにくかったんですけど、教育基金の繰入れで5,000万、資料ナンバー4の③で一番上に放課後育成事業で5,000万というのがあるんですね。これがどこの事業に当たってる5,000万なのかということを知りたいんですけど。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 1点、見解というか、ちょっと違っている部分というか、共有したい部分が1点ございます。それは我々としてはこの放課後児童育成事業という予算事業を見ながら資金充当をしているという側面が1点ございます。その中で委託料に充当している分ですとか、その他の分に充当している分というのがあるので、そういった御理

解でいただければというふうに思います。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 なので、その委託料に充当している分が幾らなのか、そのほかのところが幾らなのかというところをちょっと聞きたいんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基本的には、趣旨に合致して、全体が、教育費の趣旨に合致していますので、その中での案分処理を今回資料上しておりますので、本当にどこに充てているかというのは、あくまでも案分計算になるので、ここに計算をしたものはここに載っておりますし、残りのものは残りのほうで案分した形で当たっているというふうに御理解いただければというふうに思います。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、放課後子ども教室の委託料と児童クラブでどのぐらい案分されて当たってるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 児童クラブの場合は、児童クラブなども含めてですけども、基本的には使用料などもあるので、全体の中から使用料や国県の補助金を除いた一般財源にそれぞれ案分して充当させていただいているという形になります。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 幾らなのかということをやっと聞きたいんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁できますか。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 大きな金額としては児童クラブと放課後子ども教室になりますので、放課後子ども教室については、先ほど、資料6-5で充当のお示しをさせていただいたとおりのおおよそ2,500万なので、おおむねですが、残りが児童クラブという形でおおむね御理解いただければというふうに思います。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 231ページの教育振興事務事業、4目ですね。その上から3番

目、学校教育指導員です。これ、何名なんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 3名でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一点、質問を突っ込んでしたいんですけど、先ほどの放課後児童育成事業の件で2,500万ずつというところなんですけども、もともと教育基金に条例改正したときに、GIGAスクールとか、そういう改定、そっちのほうの費用がかかるからそこに充てるということで改定されたと思うんですけど、なぜ今回こういった委託料のところに充ててるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 御指摘のとおり、GIGAスクールについては充当させていただいておりまして、資料6-5の中でも充当している額を見ていただきますと、GIGAスクールにも放課後の充当額よりも多く充てさせていただいております。教育基金の趣旨にのっとり、今回、放課後の育成事業についても費用が物価高騰などで人件費のほうで上がっておりますので、そういった部分を基金で対応しているというところでございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか、ございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の229ページの教育相談事業、一番下のところのスクールソーシャルワーカー、これは何人いて、どんな人がやっているか。それから、通常はどこに勤務されているか、教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） スクールソーシャルワーカーは3名でございます。勤務が教育委員会のほうで勤務をしております。資格としては、精神保健福祉士ですとか、そういった資格を持った方をお願いをしておるところでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こңどう委員。

○こңどうのぶお委員 231ページ、教育振興事務事業の上から5番目、教員補助業務とも一つ、養護教員補助業務、これ、それぞれ何名見えるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 教員補助は27名です。養護教員補助は5名ということになります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところ、そこにある学校教育指導員報酬から学校図書館業務で、そのずっと下、そこから教員業務支援報酬のところまで全部増額してるんですけど、それは人件費の増なのか、人員が増えてるところがあるのか、増えてるところはどれぐらい増えてるのかということを教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 増えているところは学校教育指導員報酬で1人増えています。あとは人数的には同じで、増額の要因は報酬額の増ということになります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書の237ページ、小学校扶助事業、あと、今からしゃべるのは中学校の扶助事業も兼ねていると思って聞いていただきたいんですが、この費用、金額を検討したいので幾つか尋ねたいと思います。

要保護・準要保護就学援助の費用を算出するに当たって、まず、捕捉率は幾つで、令和6年度までとの変化というのは令和7年度はあるかどうかをお答えいただきたいと思います。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 申し訳ありません、捕捉率というのはちょっと分かりかねますが、金額としては実績を踏まえて同額にしておるところで、例えば小学校の扶助事

業であれば350人、中学校であれば200人を想定をしておるところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 先ほどの給食費の考えとも少し重なるかもしれませんが、児童生徒の総数としては僅かずつ減ってきているということだと思います。その上で、この金額の算定はおおむね児童生徒がいる世帯の貧困率というか、全体の中に占める生活困難な世帯の割合があまり変化しないだろうという考えの下に算出されているということですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これはその年度の実績人数、実績の人数に基づいて算出しておりまして、率というところでは算出はしておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） ちょっと補足です。もしも、例えば、今こういう形の金額になっていますけども、金額が不足するような場合がありますら、最も大事な部分でありますので、その部分については柔軟に流用等で対応してまいりたいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 予算の概要の24ページ、96番、G I G Aスクールです。こちらなんですけど、今年、この3億円というのは多分システム書換えの時期が来てるからで、数年に1回の3億円だと思うんですけど、まず、その確認。

数年に1回だと思うんですが、これ何年に、3年に1回だったか、5年に1回だったかを教えてください。これ、2点目。

あと、もう一点目、国の予算は大体どのぐらい入ってるでしょうか。

以上、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 小学校のG I G Aスクール構想の端末の更新作業、これは5年ごとに更新をしてまいります。歳入として県の補助金がございます、この予算書でいきますと1億4,406万円ほどが歳入として当たります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 もう一度、今回がその書換えの更新の時期のこの金額なんですよ
ね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） このたびが、令和7年度がそのタイミングとなります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 そのGIGAスクールので資料ナンバー1－9で、これ、端末を
買う購入費の明細になっていますけど、その中でGIGAスクールの端末は分かります。
あと、その保管庫も分かるんですけど、あと、一番上の経常管理用備品というのがどう
いったものの備品なのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは各学校に配分する備品購入費で、特にこの目的で
というのは決まっていないものです。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の資料ナンバー1の⑨のところで、小学校、中学校と、まず学習
者用端末があるんですけども、これは端末を新しく買い換えるという、そういうまず理解
でいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） そのとおりでございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、児童生徒全員分だと思うんですけども、既存のもの
というのはどうなるのかということと、あと、タブレットの保管庫というのはもともとあ
ったと思うんですけども、なぜこれも新しく購入されるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、端末の処分については、処分というか、それは処分をされます。データを消した上で処分をされますということ。タブレット保管庫については、現時点ではそんなきっちりとしたものではありませんので……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） 補足します。タブレット保管庫につきましては、今回、若干の予備費で対応する部分があります。要は壊れたときの修繕ですとかというのは国のほうでも一部認められている部分がありまして、そこを保管する部分というのが、放っとくわけにはいきませんので、そこをちょっと蓄えておくといいますか、柔軟に出せるような形にしておりますので、そういう形の保管庫という形で充電を使えるような形になるということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところで、今の確認で、タブレット保管庫というのは予備のものを保管しておくための箱ということでもいいですかということと、これ、そのまま処分ということなんですけど、下取りとか、そういうのはなくて、もう本当に廃棄するしかないんですかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） こちらは、このG I G A端末というのは基本的にほかに転用ができません。なぜかといいますと、アカデミックライセンスみたいなものを使っている、その縛りで金額を安く入手してるもんですから、こちらのほうについては基本的にほかに何か使おうと思っても使えない事情がございます。ですので、こちらのほうは資源化等を含めて適正に処分といいますか、売却というか、そのような形のことを考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 関連です。その処分、リサイクルか分からないですが、その処分の費用というのはどこに出ているんですか。入。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 購入することで無償で処分はしていただくというところになります。無償というか……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 関連で今のところ。金額が大きいので、5年に1回ということでお聞きしたいんですけれども、今回、今までタブレット1人1台使用して時間がたつわけなんです、家へ持って帰ってただとかの使用実態の調査というのか、ネット依存だとか、いろんな目とか体のこととかがあるんですけども、そういった活用方法の意見だとか、そういう身体、発達への影響とかというのの実態把握をされていますか、されていませんか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 予算に絡めた質問にしてください。

○ふじえ真理子委員 そういったことを検討した上でこういった更新時期を迎えてやってますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 特にそういった実態、そういったところはしておりません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 233ページの放課後育成事業の下、今度、放課後児童健全育成事業の補助金についてですけども、こちらはかなり増額しておりますけども、これ、民間の学童保育だと思うんですけども、どこかそういったところが増えるのか、どういう理由でこれだけ増えてますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 学童保育そのものの数が増えることはないんですけども、現時点で。ただ、開所日数であるとか、長時間預かることへの加算というものがかなり大きく出ているというところがございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今の学童保育は何か所あるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 3 か所でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その3 か所にこの配分はどれだけになってるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは個別の児童クラブへの配分になってしまいますので、御回答は差し控えたいと思います。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 235ページの小学校管理事務事業の中で、今度これに森林環境譲与税が当たってるんですけども、これは何に使われてるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 児童用の机、椅子の購入、買換えですね。それを考えておりますので、その予算に充てるというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 先ほどの学童クラブの配分基準というのは教えてもらえますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 後ほど御回答させていただきます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 235ページの下から5 個目か6 個目の小学校用地鑑定、これ、たしか三崎小だと思うんですけども、これはなぜこういうふうに鑑定して、多分買い取るのかなと思うんですけど、なぜそういうふうになったんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これにつきましては、国有地の払下げを前提とした鑑定評価でございます。これについては年間かなり多額の借地料をお支払いしておるので、購入したいというふうを考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 この鑑定というのはこれまで、三崎小のところだと思うんですけど、これまでしたことはないんですよ。直近でしたという実績というのはないんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 現時点ではありません。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 この中に、今の中に測量の費用は入っていますでしょうか。あと、これは共有地というものは含まれていますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、共有地は含まれておりません。測量費用もこれは含まれておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 235ページの小学校管理事務事業の学校医の報酬のところの精神科医の報酬、これは条例で出てきたところかなと思うんですけども、これですと条例の報酬よりもかなり少ない金額9万9,000円となっているんですけども、これは小学校のほうはどうしてこういうふうになっているんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、精神科医は中学校のところの学校医として位置づけられます。中学校の学校医なんですけれども、小学校へ面談をすることも可能としますので、

その面談回数を計上したものです。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の259ページの給食センター整備事業の設計・建設等モニタリング支援業務委託料についてです。こちらは代表質問を聞いていまして、こういったところに委託するかというやりとりのところで、アドバイザーの業務をやってくれたところをそのまま継続するというふうに理解をしたんですが、そのことが合っているかどうかということと、今後やっていく中で設計の変更だとかというのはやれるものなんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

矢野準備室長。

○新給食センター準備室長（矢野 優君） ただいまの御質問の回答ですけれども、基本的には本会議のほうで議案質疑のほうで答弁したとおりになります。変更契約についてはこちらからの要望があれば協議の中で対応していくということになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の関連してなんですが、今後協議ということなんですが、そういう可能性として、例えばですけども、太陽光発電だけではなくて、そういった最先端のそういったカーボンニュートラルのような施設ということも考える余地はまだあるということですか。

（予算ですかの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） という予算ですね。

○ふじえ真理子委員 という予算ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 矢野室長、お願いします。

○新給食センター準備室長（矢野 優君） 基本的には、こちらの要求水準に従って事業者が提案した内容でこちらが採択しているということになりますので、そこから特段市のほうが要望しなければそういった改修は行いません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 先ほどの放課後児童の基準のことですけれども、これにつきましては国の基準に沿って基礎額を算定しておりまして、開所日や開所時間、処遇改善、あと、障がい児の受入れなどに基づいて算定をしておるというものでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 委員の皆様に向います。この後のスケジュールの組立てのためにお聞きしたいんですが、質疑を予定されているのは何本ぐらいございますでしょうか。数本ぐらいですか。数本ですね。分かりました。じゃ、続けます。

では、ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 戻ってすみません、先ほどの給食センターのページ数259のモニタリング支援業務、先ほどは市が特段要望しなければそのままかなという御答弁でしたけど、市としてはそういった要望はしていく考えはあるんですか、今回、この業務委託料。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

矢野準備室長。

○新給食センター準備室長（矢野 優君） 今のところ予定はございません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 新給食センターのモニタリングの委託のところで資料ナンバー2の⑬、詳細の仕様書、ありがとうございます。まず、ちょっと確認したいのは、今までアドバイザーの方が入ってたと思うんですけども、まず、それは契約が切れて、また別の事業者というか、別の方をお願いするということでこういうふうな委託が出てるということでいいかということが1つと……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員、1個ずついきますか。

○林 ゆきひろ委員 1個ずつですか。じゃ、その件、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 矢野準備室長。

○新給食センター準備室長（矢野 優君） アドバイザリー支援業務と同じ事業者を想定しております。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それは随契という形になりますかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

矢野準備室長。

○新給食センター準備室長（矢野 優君） 随意契約を予定しております。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 13ページの債務負担と合わせると2,500万ほどですけども、これ、2,500万円はこれはもう人件費って考えればいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

矢野準備室長。

○新給食センター準備室長（矢野 優君） 人件費の部分がほとんどになるかと思いますが、その他、疑義が生じた場合に弁護士さんに相談とか、そういったことも想定されていますので、様々な費用が入っていると思います。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 この業務目的の中に市と金融機関と直接協定を締結するってあるんですけども、借入れするのは事業者だと思ったんですけど、資金調達、市が金融機関と直接協定する目的というか、内容はどのようなものになるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

矢野準備室長。

○新給食センター準備室長（矢野 優君） 今回、融資を受けるに当たって、金融機関と、あと、事業者が融資を受けるという形になるんですけども、基本的には一般的な住宅の売買とかになりますと買う建物が担保に入ると思います。今回のPFI事業に関しては、施設完成後、その所有権が市に移転されますので、その担保が直接SPCに対しては取れないというような形になりますので、その部分を担保するということで市が入って協定を結ぶという形になります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 また戻りますけど、予算書の229、スクールソーシャルワーカーのところ。一番下のところ、それで、この人は相談件数は何回ぐらいあって、それで効果は出ているのか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） それは予算ですか。決算ですよ、それだと。予算について質疑をお願いします。

○浅井たかお委員 年齢はどれぐらいで、あと、男女は、3名とお聞きしてるんですけど、男性、女性、何名いらっしゃいますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 予算、関係ありますか、性別が。

秋永課長、答弁願います。

○学校教育課長（秋永亘正君） 年齢はちょっとお答えしませんが、女性が3名いらっしゃ

やいます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 歳入です。41ページ、予算書の41ページで昨年度までなかった予算があったので、小さいけど、お伺いします。下のほう、下から3つ目ぐらいのところに南部公民館の施設の行政財産目的外使用料というのが初めて上がってきてるんですけども、これは何だったのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） こちらは南部公民館の自販機になります。自販機の行政財産目的外使用となります。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 予算書231ページの教育振興事務事業の下から9つぐらいかな、講師等謝礼とあるんですが、これはどういった講師の謝礼になるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 命の推進事業というものをやっているんですが、そういった事業の講師、そういった事業をやっておるんですが、そういったものと、あとはホームフレンドの報酬もこちらに含んでおります。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書237ページの小学校教育振興事業の消耗品と239ページ、中学校教育の消耗品で、これ、6年度はデジタル教科書と言ってたんですけども、ほとんどまた金額が変わらない形で出てるんですけども、またデジタル教科書なんですかね。どういうものになってますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 消耗品としてはデジタル教科書も含んでおります。あと

は指導者用の教科書ですとか、そういったものを計上しております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと確認したいんですけど、たしか教科書改訂等があって購入してたと思うんですけど、毎年更新というか、かかるんですかね。そのあたりはどういうふうになってますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 教科書改訂のときには大きくかかってくるんですけども、デジタル教科書についても付随する教材としてそれは一定程度必要なものがあれば買うということになっておりますので、その分を消耗品として計上したいというふうに考えております。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 確認ですけど、であれば、毎年これぐらいの金額はかかってくるって考えたほうがいいということですかね、デジタル教科書関連で。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） デジタル教材が今増加している中で、どこまで学校のほうで活用してくるかというところにもよってきますけれども、一定程度これぐらいはかかってくるだろうと考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 231ページの下から3つ目かな、薬品廃棄委託なんですけど、どのような薬品を処理するんでしょうか。リサイクルとかはするんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは理科薬品、理科の実験等で使う薬品の廃棄でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 それ、リサイクルとか、なるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） リサイクルはございません。

以上でございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 243ページの公民館活動で真ん中の駐車サービス券等ってあるんですけども、これは南部公民館の駐車券の関係ということでもいいですか。それ以外もありますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） こちらは、委員の言われるように、南部公民館の利用者分の駐車券となります。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 利用実績がどのような状況か。かなり減ってるんですけども、実際利用が少ないというふうなことでもいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 当初見込んでおった実績といたしますか、実績としてはそれほど上がってないという印象を持っております。具体的な数字については持ってはおりません。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて10款 教育費の質疑を終わります。

委員会質疑の途中ではありますが、ここで理事者側の説明者の入替えと並びに昼食のため、午後1時10分まで休憩いたします。

午後零時6分休憩

午後 1 時 1 0 分再開

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） では、休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、11款 災害復旧費について説明をお願いします。

外山土木課長。

○土木課長（外山紀元君） それでは、11款 災害復旧費について、歳出より御説明いたします。

予算書258、259ページをお開きください。

最下段の11款 1 項 1 目 農業土木災害復旧費は、右側説明欄、農業土木災害復旧工事費として5万円を計上しています。

次ページ、260、261ページをお開きください。

中段、2 項 1 目 道路河川災害復旧費は、道路及び河川災害復旧工事費として5万円計上しています。

続きまして、歳入について説明いたします。

52ページ、53ページをお開きください。

14款 2 項 4 目 農林水産業費国庫補助金として、右側説明欄 2 行目のとおり、農業土木災害復旧費補助金は事業費の3分の2の3万3,000円を計上しております。

同じページの5 目 土木費国庫補助金、説明欄の公共土木施設災害復旧費補助金は事業費の3分の2の3万3,000円を計上しています。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） 説明は終わりました。

11款 災害復旧費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鶴飼貞雄議員） これにて11款 災害復旧費の質疑を終わります。

続いて、12款から14款までについて説明をお願いします。

浦財政課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 予算書261ページの下段をお願いいたします。

12款 公債費でございます。公債費は1 目 元金と2 目の利子から成り、元金でプラス4,838万円、利子でプラス503万4,000円となっております。

続きまして、263ページの上段をお願いいたします。

13款 諸支出金は基金への積立てです。財政調整基金積立事業1,172万9,000円から減債

基金積立事業1,000円までは利子のみを計上しているものでございます。

下段の予備費は前年同様の3,000万円を計上しております。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

12款から14款までについて質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 公債費の長期元金で12億と利子の支払いですけども、このうちの臨財債がどれぐらいなのか、教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） ちょっとお待ちください。すみません、後ほどすぐ回答しますので、回答を出してから、申し訳ありません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか、ございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） じゃ、少しこのまま、ゆっくりでいいですよ。

答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） おおむね半分となっております。失礼しました。申し訳ありません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか、ございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 金額で教えてほしいんですけども。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 失礼いたしました。元金で8億1,000万ほど、利子で1,300万円、失礼しました。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて12款から14款までの質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために、暫時休憩いたします。

午後1時14分休憩

午後 1 時 1 8 分再開

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

一般会計の各款別の質疑が終了しましたので、総括的な質疑を行います。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 予算書の81ページの17款 寄附金、この中で競馬場周辺整備事業寄附金がありまして、もう一つ、87ページにこちらは諸収入で競馬場事業の収入配分があるんですけど、両方で4億円ぐらいになるんですかね。これの使われ方と、あと、どうしてこうやって分かれるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦財政課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 81ページと87ページでございますが、81ページはいわゆる中央競馬会からの歳入になっております。87ページは愛知県競馬組合からの歳入になっております。支出については、基本、一般寄附などで一般財源で来ておりますので、特定財源ではないというところでございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 現在、当市は人口が若干減少し始めていながら、この当初予算だと個人市民税や法人市民税はその中でも増加するという見込みが示されていたり、一方で、執行する予算の金額的には物価の高騰や人件費の高騰も受けるという大変複雑な中で私たち議員もどんなものか判断する必要に迫られていると思うので聞くんですけど、当たり前と同じ人口規模で同じサービスの分量を保障しても自然に財政規模は大きくなるという状況にあると思うんですが、物価の関係では。この7年度の中でどのぐらい物価の高騰に対応した割合とか、あと、金額というのを見込んでいたりするものなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 分かりますでしょうか。答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 個別には累計はしておりません。申し訳ありません。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 予算書165ページの保育事業、下のほうの保育事業で特定財源のその他で、ここに300万の基金が入っていると思うんですけど、1億9,000万、そのうちの300万が基金で残りの財源って何になるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 300万円はいわゆる工事に充てている基金になりますが、残りの財源は今まさに委員が御覧いただいておりますとおり、この165ページに示しておりますような国県支出金などの財源が当たっているというところになります。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 全体的な国庫補助金についての確認なんですけど、先日、3月補正予算の質問の中で、給食費の補助について国の補助があるにもかかわらず、一般財源でやる気を見せるべきなどという発言がありました。そこで、私、とても驚いたというか、疑問に思ったんですけど、国の補助金は大いに活用すべきではないでしょうか。活用できる補助金などを使わなければ市ができる事業などは小さくなってしまわないかなと思うんですけど、この認識でよかったですでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 御指摘のとおりでございます。全くもってそのとおりだと我々も考えて運営しております。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 その上で、令和7年度の予算では豊明市の国庫補助額がとても増えているのも特徴だと思います。補助金をつけてもらうために私たち保守系議員も国に陳情に行くことがあります。補助金をつけてもらうということは本当に大変なことだと理解をしていますし、職員さんの努力、市長のプレゼン能力の高さなどによって豊明市は補助金をもらえていると思っています。この点は職員さん方が苦勞されて、努力を惜しまず、積極的に国庫補助を活用されている姿勢の表れと思うのですが、見解などを教えていただけますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 歳入の補助金が今回大きく増額をしておりますので、そういった観点かと思いますが、御指摘のとおり、今回増額をしておりますのは間米南部などが対象になっている都市再生整備計画に基づく、いわゆるノースセントラルの補助金になっておりますが、これは本市が主体的に計画策定をした形で認めていただいているというところがございまして、御指摘のとおり、職員の主体的な努力によって事業が進んで歳入も大きく増加しているというふうに我々も思っております。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか、ございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書31ページの一番下の法人事業税の交付金についてですけども、たしかこれは従業員の、法人市民税に対して従業員で案分する形かなと思うんですけども、これが増額、増えてるということは、市内の企業の従業員が増えているということなのか、どういうふうに考えればいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） このたびの法人事業税交付金については実績を勘案しての増額をさせていただいております。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 その実績というのはどのような実績なのかということが聞きたいです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 実績には基本的には2種類あるかと思います。1つは県が示した推計と、一方で、本市がこれまで歳入を受けてきた実績で、後者の実績を見て今回の予算を決めております。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 なので、最初の質問に戻るんですが、従業員が増えていると、そう

いうわけではないということですかね。県のそういった数値で増えていると、それだけということなんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 県の見込みは県全体では減少しておりますが、本市は実績はちょっと増えてきてるので、その実績を見て、県の減少ではなくて、本市の実績を見て今回少し増やしているという形になっております。なので、県のほうの数値は今回は見ずに、本市の実績でやってます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 131ページなんですけれども、地方税共同機構負担金というのはQRコードで納税が利用できるというシステムだということを昨日伺いましたんですが、そうですね。これは保険、後期高齢者とか健康保険の納付もできるようになっていますか。税金のみですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁できますか。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 申し訳ありません、そういった電子化を進めていくということは承知をしておりますが、ちょっと個別の税目については把握を、今現時点では手元に資料がありませんのでお答えできません。申し訳ございません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 基金についてちょっと教えてください。基金は、今後いつ災害があるか分かりませんし、将来の投資的な事業にも備えておく必要があるかと思います。今回の繰入れを経ての基金残高はどのような状況と評価できますか。また、可能であれば市債についてもお聞かせ願いたいと思います。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 先般の代表質問などでも御質問いただいておりますが、いずれの基金も市債も繰入れが増加したり、市債も事業費で増えておりますが、市債の借入残高や基金の残高については全国的に見ても健全な位置をキープしているというふうに認識をしております。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにありませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 予算書の26ページの都市計画税 7 億3,623万4,000円ですか、これは来年度の使い道は何になるんでしょう。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 区画整理ですとか、都市計画事業などに充当させていただく予定であります。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 予算書の20ページの歳入の部分ですけども、9 款の地方特例交付金なんですけども、前年度比からいきますと79.2%の減ということで、ちょっと減り幅が多いんですけど、御説明ですと、その要因としては地方税の増加を見込んだことによるこのたびの減少ということとお聞きしましたけども、そういった場合は何か本市にとってリスクは出るか、評価されてますでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 地方特例交付金の減少は、いわゆる令和6年度にあった定額減税分を地方特例交付金で措置していたものがなくなった形になりますので、我々としてはリスクというものが特に生じて減少しているわけではないというふうに思っております。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の87ページ、20款 諸収入の雑入の滞納処分費のところのこの50万なんですけど、これの50万の滞納の中身を教えてください。どのような滞納を対象としてますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 種類ですね。

（はい、種類ですの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） これは来年度になってからの処分に対する予算でございますので、現時点では内容は決まっていないかというふうに思います。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 予算書の275ページの一番下の地方交付税の中にある臨時財政対策債ですけれども、令和7年度は発行がゼロになりました。もともと平成16年ぐらいだったかな、国から地方交付税が全額現金でもらえないので、半分程度は当時は臨財債として債券として発行してほしいで始まったんですけれども、この元利というのは後年度に、後から国が責任を持って豊明市に払ってくれると言うんですけれども、これ、今までは臨時ですから、失われた30年と言われてるように、税収は伸びてなかったんですけれども、今は結構税収が伸びて、これ、多分ゼロになったと思うんですけれども、ちょっとお金に色がついてないのでなかなか分かりづらい部分ですけれども、この275ページだとちょうど臨財債の令和7年度現在見込額というのが74億弱、発行されないということは後年度に国が面倒を見るという金額はあるはずなんですけれども、地方交付税、基準財政需要額の中に交付が入ってるはずなんですけれども、見込額、発行されないということでこれが減っていくということでよろしいですか。そういう認識でよろしいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） よろしいかと思います。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか、ございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 ということは、これ、国が臨時財政対策債を豊明市に発行しないということは、何年か、かなりの年数がかかると思いますけれども、これは臨財債がどんどんどんどん減ってゼロに近づいていくということでよろしいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 満額発行が前提ではありますが、このような状況が続けばゼロに近づいていくと思います。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 資料ナンバーの4－1で、これ、職員の数字があるんですけど、職員も増えているということと、あと、会計年度も増えていますということです。市としてDXだとか、ChatGPTとか、そういったものを入れる。あと、保育に関しても、こども保育なんかはICT化を導入して保育士の負担軽減とか、そういったことが書いてあるんですけど、こうやって増えるという要因というか、どうなんだろうという事なんですか、例えば、アイグランとか、そういったところの人数も減ってます。今後、給食センターも人が減るんですけど、これ、どんどんどんどん職員が増えるんですけど、そういった考えとか傾向、どのようにお考えですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

伊藤秘書広報課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） おっしゃるとおりICT化が進んでいって事務の軽減というのは今後進んでいくと思われませんが、実際、例えば保育にしろ、学校にしろ、人に対するものについては、いろんな問題を抱えたお子さんたちが増えてきたり、保護者対応だったりするものですから、人への対応はやはり人でないとできませんので、そういった意味で人をだから減らすという考えには今は至っておりません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 以上で総括的な質疑を終わります。

以上で一般会計の質疑を終結します。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために、暫時休憩いたします。

午後1時32分休憩

午後1時36分再開

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

特別会計及び企業会計について説明及び質疑を行います。

議案第13号の国民健康保険特別会計について説明願います。

近藤保険医療課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） それでは、令和7年度国民健康保険特別会計予算につきまして御説明申し上げます。

予算書の279ページをお願いいたします。

令和7年度国民健康保険特別会計の予算総額は57億4,590万円で、前年度と比較して2億9,310万円、4.9%の減額となっております。総額の減の主な理由につきましては、団塊世代の後期高齢者医療への移行などにより被保険者数の減が進んだことによるものでございます。

それでは、歳出から主なものを御説明いたしますので、302、303ページをお願いいたします。

上段、一般管理費の国民健康保険人件費でございます。前年度より889万9,000円増額の5,985万9,000円を計上いたしました。これは職員数7人分から8人分になったことによるものでございます。

続きまして、下段、一般管理事務事業でございます。前年度より457万4,000円減額の851万2,000円を計上いたしました。これは主にマイナ保険証に関連するシステム改修が令和6年度で終了したことによる電算関係委託料の減によるものでございます。

続きまして、306、307ページをお願いいたします。

下段、2款 保険給付費です。2款の総額で前年度比1億3,846万7,000円減の38億4,708万9,000円を計上いたしました。減額の要因といたしましては、1項の療養給付事業、療養事業、2項の高額療養事業について、前年度と比較して1人当たり額はそれぞれ増額しておりますが、被保険者数の減少からそれぞれ前年度より減額計上としたことによるものでございます。

続きまして、312、313ページをお願いいたします。

3款 国民健康保険事業費納付金でございます。これは県へ納付する国民健康保険事業費納付金でございますが、3款総額で前年度比1億5,498万2,000円減の17億2,152万7,000円でございます。被保険者1人当たり額は前年度と同額程度でございますが、被保険者数の減により減額となっているものでございます。

1ページおめくりください。

上段、特定健康診査等事業費の特定健康診査等事業につきましては前年度比360万5,000円減額となっております。説明欄の下から2行目、健康診査委託料の減によるものでございます。

続きまして、歳入の説明をいたしますので、290、291ページをお願いします。

1款 国民健康保険税の令和7年度予算額につきましては、税率等改正を予定し、被保険者9,950人分の保険料とし、前年度比1.9%、2,195万1,000円増額の12億581万4,000円を見込みました。

1 ページおめくりください。

中段、3 款 県支出金につきましては、前年度比3.5%、1 億4,193万4,000円減額の39 億3,407万円を見込みました。主に市が行う保険給付に対して交付される普通交付金の減額見込みによるものでございます。

294、295ページをお願いします。

5 款 繰入金につきましては、前年度比22.6%、1 億7,395万9,000円減額の 5 億9,615 万2,000円を見込みます。

1 ページおめくりください。

一番上、一般会計繰入金について 2 億2,738万8,000円の増額、その下、基金繰入金につきまして 4 億134万7,000円の減額となっておりますのは、前年度はその前年度の 3 月補正で財源確保をし、国保財政調整基金を通して国保特別会計に繰入れする形としたことによるものでございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

議案第13号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 当初予算の概要77ページです。今の御説明にもありましたが、保険給付費の高額療養事業です。金額は減額けれども、それは被保険者の減少の効果であって、1 人当たりの金額でいうと増額というお話だったかと思いますが、その 1 人当たりの金額は増額しているというのはどういう変化か分かりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） まず、今回、資料請求が別の委員から、ふじえ委員から出ているものでございますが、資料ナンバーの 1－12を御覧ください。

高額療養費の積算につきましては、その年の 1 人当たりの療養給付に係る医療にかかる額を設定いたしまして、それ掛ける被保険者数、それと保険者の中での負担割合について積算することによって算出しているものでございます。ですので、被保険者数が減ることによりまして全体としては下がるものでございますが、1 人当たりにつきましてもこちらから試算されるものとしたしまして、額といたしましては 5 万266円というふうに試算のほうをしております。昨年度、令和 6 年度の予算につきましては 1 人当たり額が 4 万8,085 円というふうに試算しておりますので、そういったことで 1 人当たり額としては上がるの

ですが、全体の被保険者数の減によって全体額としては下がるということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書の297のその他繰入れについてですけども、これ、赤字繰入れなのか、赤字繰入れと違うのか、ちょっと聞かしてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こちらのほうのその他繰入れにつきましては、赤字繰入れとみなされるものと赤字繰入れとみなされないその他繰入れとが合わさった額となっております。決算補填の額といたしましては1億3,600万円程度で、赤字繰入れとみなされない独自減免とか保険事業等に充てるものとしては7,600万円程度を見込んでおります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 315ページの特定健康診査等の事業の一番下なんですけど、真ん中辺、未受診者対策委託料ですか、これ、新しいものだと思うんですけど、どのような対策なんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こちらのほうは令和3年度から5年度にかけて3か年、同様の事業を行ってまいりました。そちらのほうでA Iやナッジによる未受診者の方へのアプローチを取り組んできたのですが、一旦、令和6年度で取りやめをさせていただきまして、令和7年度につきましては、より公益性の高い事業者のほうで委託できる事業がございましたので、そちらのほうに委託をする見込みで計上させていただいているものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか、ございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の293ページの県補助金の中の特別交付金の上から3つ目、県繰入金（2号分）とあるんですけども、この増額というのは、令和7年度、何か給付以外の事業に対してどういうことを取り組んでいこうと思ってるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 保険事業全般に関する積み上げでございますので、特別にこの事業において大きな額が見込まれたというものではございません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほか、ございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 291ページの医療給付費の保険税のところですけども、まず、ちょっと単純な確認なんですけど、被保険者数は減ってきているんですけども、この課税分が増えてるというのは税率を上げたことによる影響と、そういうふうに理解していいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 今のお見込みのとおりです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それで、人数が減ってきていて、その影響で保険の給付費、それから、納付金が減ってきているんですけども、だけでも、やはりこの税率を上げないといけない、税率を上げないといけないというその理由は、その辺りのところを説明してください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 本会議場で条例改正の際にも御説明をさせていただいたことと同様になってまいりますが、今現在、国保におきましては、県の示される標準保険税率にある程度沿った形で統一が求められているところでございます。そうした標準保険税率と連動するようなものとしたしまして納付金というものがございます。先ほど、来年度当初予算の説明で1人当たりの納付金については昨年度と大きく変わらずというふうに御説明をさせていただきましたが、実際納める額が変わらず、しかも標準保険税率と乖離がある本市におきましては、今後、標準保険料率に寄り添った形で保険税率の改正が必要ということになってくるものでございます。そうした保険税率の改正に合わせまして、連動しまして、赤字繰入額についても今後縮減が見込まれるところでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど、納付金のところは全体で見ますと1億5,000万ということで、全体が減ってきているんですね。1人当たりのところは増えてるのかもしれないんですけども、人数が減っている影響でそっちの減るほうが大きいんですよ。全体の収支を見るとどちらかというと県の支出の部分が削られているのかなと思うんですけども、その辺りの要因をちょっと聞かせていただきたいんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 県の支出に関して一番今回減が大きく出ているところは普通交付金のところが一番影響が大きいです。普通交付金につきましては、保険給付費とほぼイコールで交付されるものとなっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書のページは295ページで、繰入金の3番の未就学児均等割保険税繰入金です。これは未就学児が何人分なのかというのは分かりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 未就学児につきましては、令和5年度の実績でお答えしますと154世帯となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 299ページの諸収入の中の第三者納付金というのは、これはどのようなものになるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 交通事故など、第三者によって傷害を受けた一般被保険者の医療費のうち、国保負担分につきまして損害賠償額を行使して第三者から納付していただくものとなっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 293ページの先ほどの保険給付費の交付金についての今度は特別交付金のほうなんですけども、保険者努力支援分と特別調整交付金が結構減ってきてるんですけども、こちらのほうの減ってる理由は何ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こちらの2つにつきましては、3月補正でそれぞれ減額のほうを今回補正予算として出させていただいております。保険者努力支援につきましては500万円程度、特別調整交付金につきましては870万円程度上げさせていただいております。それと、令和7年度の減額理由についてはほぼ同じ内容となるのですが、保険者努力支援につきましては国のほうのメニューが変わったことによるもの、それから、特別調整交付金については、マイナシステムの改修に伴うものが別の交付金メニューであるからということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっとその努力支援側のほうですね。その国のメニューがどういうふうに変ってきているのか、教えてもらえますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） いろんなメニューがございますが、例えばマイナ保険証導入に伴ってマイナ保険証の普及啓発に関することですか、実際の利用率の上位幾つかの自治体がとか、そういった新しいメニューなども増えてきているものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 315ページの特定健康診査等の事業、それから、その下から5番目か、印刷製本の費用40万ぐらいの減だと思うんですけど、これの理由、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 印刷製本の減の理由につきましては、今残っているような印刷物だとか封筒等を改めて使える見込みがあるから、実質に合わせた積算でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて議案第13号の質疑を終わります。

続いて、議案第14号の土地取得特別会計について説明願います。

山田総務課長。

○総務課長（山田隆貴君） それでは、令和7年度土地取得特別会計予算について御説明をいたします。

予算書の331ページをお願いいたします。

議案第14号 令和7年度豊明市土地取得特別会計予算。

令和7年度は歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ420万円とさせていただきました。昨年度より260万円の増額となります。

歳出より御説明しますので、342ページ、343ページをお開きください。

上段、1款1項1目 土地取得事業では、当会計の所有する土地の維持管理をするための費用としまして測量設計等委託料に20万7,000円を計上しております。

その下、2款1項1目 土地開発基金繰出事業では、預金利子を基金に積み立てる予算としまして399万3,000円を計上しております。

続きまして、歳入を御説明しますので、1ページ戻りまして、340、341ページを御覧ください。

1款 繰越金、1項1目1節 繰越金は、前年度と同額の1,000円となっております。

その下、2款 諸収入、1項1目1節 土地開発基金借入金では、当会計の所有する土地の維持管理をするための費用としまして、基金から20万6,000円を借入れするものです。

その下段、2項1目1節 預金利子は399万3,000円で、前年度と比較しまして268万7,000円の増額となります。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

議案第14号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 339ページの土地開発基金費の積立て399万で、基金残高のほうはどうなってますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 基金残高ですが、令和6年、確定しております令和6年3月31日現在でお答えをさせていただきたいと思います。基金残高につきましては9億8,598万8,557円となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

どうぞ。

○総務課長（山田隆貴君） 申し訳ありません。そこに利子が入ってきますので、すみません、そのとき入ってきました利子を加えまして、訂正させていただきます。9億8,644万9,869円となります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回、予算書343ページで一番上の測量設計委託料というのは、どこかやる必要があるのかということと、この特会自体、どういう目的だったとか、取得する考えとかというのはあるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） まず、土地取得費の20万7,000円のところの御回答ですが、こちらにつきましては、現在のところ売却の予定はございませんけれども、もしあったときに測量等必要になった場合だと、くい復元とか、必要になる場合もありますので、そういった予算としまして20万7,000円を計上させていただいております。

そして、2つ目、ごめんなさい、2つ目が、すみません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） もう一度いいですか。

林委員。

（ごめんなさいの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） じゃ、答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） すみません。会計の目的ですが、こちらは土地の先行取得の必要があった場合にこちらの基金を使いまして取得するための基金となっております。こちらは基金条例で定められておりますので、目的としましては、先行取得のため、あと、その基金残高を用いて運用しまして、預金利子で運用されておりますので、そこを増やし

ていくのが目的となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 豊明の場合だと土地開発公社もあるので、そのあたりの使い分けとか目的がどう違うのかなというところを聞きたいんですけど。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちらの基金につきましては、特別会計、このように予算を組んでおりますので、議会の議決を諮って運用していくような形になっております。土地開発公社につきましては、公社は別会社となっておりますので、本当に先行取得でもう今すぐ買わなければいけないとか、そういった事案が発生した場合には公社、そうでない場合は議決を諮らせていただきまして、こちらの土地取得特別会計、基金のほうを使って運用させていただくといったすみ分けとなっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて議案第14号の質疑を終わります。

続いて、議案第15号の墓園事業特別会計について説明願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） それでは、令和7年度墓園事業特別会計予算について御説明いたします。

予算書の347ページを御覧ください。

議案第15号、墓園事業特別会計の予算総額は2,320万円で、前年度比1.3%、30万円の増額です。

それでは、歳出から主な事業について御説明いたします。

予算書の360、361ページを御覧ください。

1 款 総務費、1 目 一般管理費、墓園維持管理事業662万円の主なものは指定管理料です。

続きまして、墓園管理基金積立事業は積立金82万7,000円で、墓園の管理運営に要する費用に充てるための積立てであり、おおむね事業収入の10%としております。

続きまして、一般管理事務事業は599万8,000円で、主なものは永代使用料の還付金で553

万円を見込んでおります。

続きまして、歳入について御説明いたします。

356、357ページを御覧ください。

1 款 事業収入のうち、主な事業である墓園の永代使用料825万2,000円は実績から見込んでおります。

3 款 繰入金1,294万6,000円は墓園管理基金からの繰入金で、歳入歳出の不足分を手当とするものです。

続きまして、次のページ、358ページ、359ページをおめくりください。

4 款 繰越金200万円は、前年度の収支から見込みまして200万円の減額としております。

以上で墓園事業特別会計予算の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

議案第15号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 361ページの一般管理事務事業で一番下、永代使用料の還付金、これは何基分になるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 永代使用料の還付金は22基分を見込んでおります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その一番上の指定管理料ですけど、この中で代行サービスはどのぐらい見込んでるんですか。

あと、指定管理の効果というものはどういうふうに評価していますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 代行管理料は指定管理料に入っておりません。

以上です。

（指定管理の効果の声あり）

○環境課長（松本裕介君） 指定管理の効果につきましては、指定管理により適切に墓園管理がなされると想定をしています。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書361の永代使用料の還付金について、これは22基分と御説明ありました。これは購入資金の100%を還付するものでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 既に墓石を建設している方につきまして、半額をお戻しするものになります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 357ページの下の基金についてですけども、これ、また基金を取り崩して繰り入れるんですけど、繰り入れた後、どのぐらい基金残額ってありますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 基金残高につきましては1億3,400万円、1億2,000万円を予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 1億2,000万円になりそうということでいいですか。3,000、どちらですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 令和6年度末時点で1億2,453万円になります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 前、去年、おととしかな、1億6,000万ほどあって、どんどん減ってきてるんですね。毎年こうやって繰入れをして、いろいろ調整してやってきているところなんですけども、このままいくと基金があと10年ぐらいで枯渇しそうなんですけども、そ

れに対しての対策、対応ってどう考えていますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、建設費の起債の償還が令和8年度で終了いたします。そうしますと、起債の償還分がなくなりますので、永代使用料の確保ということに尽きます。様々な方法から周知啓発して、お墓を買っていただけるような施策を講じていきます。以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 今、永代使用料のお話がありましたので、357ページ、一番上の永代使用料ですけども、これが昨年の予算よりも減っている。一昨年の決算よりもさらに減っているというようなことなんですけども、努力して増やしていくということなんですけど、どんな努力をして増やしていくのかというのと、これ、どれだけ分を見込んでるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 令和7年度の永代使用料につきましては、令和4年度から令和6年度までの平均という形で見込んでおります。

どのように増やしていくかにつきましては、石材店さんであるとか、あと、ショッピングモールさんであるとか、そういったところに周知啓発をさせていただくとともに、墓園のホームページがありますので、そういったところに載せていただけるように努力していきます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 先ほどの林委員の質問に戻るんですけど、起債の償還で今後基金からの繰り出しがなくなるという御説明だったんですが、年間お幾らを起債が払ってて、令和8年で終わるということですけど、あと幾ら残ってるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 起債の償還につきましては、まず、令和6年度末時点で1,220万が残っております。毎年の償還ですけども、812万ほどでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 永代使用料の還付金について、先ほど、墓石が既に建ててある人に対して半額の還付金といって御説明がありましたけど、これは墓石を建ててない人、土地だけ確保した人はどれぐらい還付されますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） すみません、私、間違えまして、お墓が建っていない方に半額をお戻しさせていただいています。申し訳ございませんでした。お墓がまず建っている方は更地に戻していただいて返却いただきます。永代使用料についてはお戻しはしません。お墓が建っていない方、建っていない方は、一番最初にお支払いいただいた永代使用料の半額をお戻しをしております。

以上です。

浅井委員、もう一度、すみません、先ほどの御質問をもう一度お願いできますでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 今の御説明で大丈夫です。ありがとうございます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 361ページ、墓園事業の一番下、土地借上料、これはどこを借りてるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 今の墓園の駐車場の、2か所駐車場があるんですけども、一番藤田側というか、一番藤田側から近いほうの駐車場の辺りを借りています。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その下の墓園用地購入費なんですけど、場所と面積、なぜ買うのか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 場所につきましては、先ほど答弁させていただきましたお借りしている部分から50平米ずつ買わせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて議案第15号の質疑を終わります。

委員会質疑の途中でございますが、10分間の休憩といたします。

午後 2 時 7 分 休憩

午後 2 時 1 7 分再開

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、議案第16号の介護保険特別会計について説明願います。

塚本長寿課長。

○長寿課長（塚本由佳君） それでは、議案第16号、令和7年度介護保険特別会計の予算について御説明いたします。

予算書の377ページ、次のページ、378ページを御覧ください。

ページをまたいでいて申し訳ございませんが、令和7年度の予算の総額は57億1,140万円で、前年度と比較して1億810万円の増額となっております。

歳出から主な事業を中心に御説明いたします。

予算書の398、399ページをお願いいたします。

最下段の介護認定審査会事業1,542万4,000円で475万9,000円の増額は、介護認定審査会ペーパーレス化導入によるものでございます。

主なものといたしましては、ページをおめくりいただきまして、401ページの説明欄をお願いいたします。

3行目の電算関係借上料87万8,000円は主にシステム使用料、その下の機器購入費393万3,000円はタブレット等の購入費です。

次に、402、403ページをお願いいたします。

下の表あたりから保険給付費となっております。全体として高齢化の状況から増額となっております。居宅介護サービス給付費は、要介護者の訪問系や短期入所など、在宅介護サービスでございます。23億5,931万3,000円で893万4,000円の増額としております。

404、405ページをお願いします。

上から２段目、地域密着型介護サービス給付費、こちらはグループホーム等のサービスの給付費です。４億１,７１１万８,０００円で２,３０３万８,０００円の増額としております。

ページ中段、５目 施設介護サービス給付費は、要介護者が特別養護老人ホーム等の施設サービスを受けたときの給付費です。１７億６,０８３万８,０００円で２,１３２万１,０００円の増額としております。

続いて、４０６、４０７ページ、お願いいたします。

一番上の居宅介護サービス計画給付費は要介護者のケアプラン費です。２億６,９０２万９,０００円で１,２８５万６,０００円の増額としております。

続きまして、４２２、４２３ページをお願いいたします。

中段の保健福祉事業です。２,１３１万３,０００円で１,９１９万３,０００円の増額としております。主な要因は、説明欄の２行目、高齢者緊急一時保護事業等委託料を一時保護件数の増加を見込み、７０１万８,０００円の増額、その下、高齢者実態把握調査委託料９０５万３,０００円は、次期の介護保険計画策定に向けて高齢者実態把握調査を行うために委託料を計上したことによるものです。

続きまして、歳入を御説明いたしますので、３７７ページをお願いいたします。

まず、１款 介護保険料は１２億８,１８３万８,０００円で４,４６４万４,０００円の減額です。主な減額の要因は、令和６年度の予算積算時におきまして保険料の基準額などが不確定であったため、高く積算していたことによるものでございます。

３款 国庫支出金は１０億３,４５３万１,０００円で２,４８１万円の増額、４款 支払基金交付金は４０歳以上６５歳未満の方を対象とするいわゆる２号保険料で、１４億５,８５５万３,０００円で１,８０９万７,０００円の増額、５款 県支出金は７億８,８８８万７,０００円で７４７万円の増額で、いずれも介護給付費等の支出増の影響によるものでございます。

７款 繰入金は、給付等の制度上の市町村負担分や事務費、基金繰入金等に係るもので、総額１１億４,７２５万円で１億２３８万円の増額としております。そのうち、基金繰入金は２億３,９４９万円を繰入れいたします。

以上で令和７年度介護保険特別会計の予算説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

議案第１６号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の３８１ページ、滞納繰越分普通徴収保険料のところの滞納繰越分３００万なんですけど、現在、滞納額がどれだけあつてのこの３００万円の徴収を見込んでま

すか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

高垣債権管理課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 金額でよろしいですかね。令和5年度決算ですと887万円ほどの滞納額となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じページ、381ページのその上のところです。被保険者数の特別徴収と普通徴収で見ますと、特別徴収は200人ほど減る一方で普通徴収は180人ほど増えるという予測を立てていらっしゃるんですけども、これは厳しい年金暮らしの人が増えているというふうに取ってよろしいでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 特別徴収と普通徴収の違いという御質問だと思いますけれども、こちらのほうは原則、直近の割合で計算しているものでございまして、低額の方が増えているということではございません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー1－13で段階別で人数を出していただきましたけど、ちょっと基本的な確認なんですけども、条例改正して15段階に分かれて、6年の4月から15段階に分かれてた気がするんですけども、これを見ると7年度から15段階になってるんですけど、この辺りのことを説明いただけますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 先ほど説明の中でも御説明させていただきましたが、予算計上時はまだこの段階がしっかり確定しておりませんでしたので、予算編成時ということにつきましては6年度も前の13段階で計上しておりました。令和7年度につきましては、条例改正を基に15段階ということで計上をさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 今お話があった資料請求で出てきている資料を見ながらなんですが、ほとんど被保険者の数が変わってはいないという状況があるかと思います。この予算の予算規模もあまり、56億、57億で変わっていないんですが、やはり被保険者の数があまり変わっていないということが原因になっているということでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 委員おっしゃるとおり、被保の数は若干微減ということですが、大きく減していることではございませんので、こちらの被保数はあまり影響はございませんが、介護保険の中でも後期高齢者の年代といいますか、ちょっと前期高齢者に比べますと人数的には後期高齢のほうが増えてまいりましたので、そちらのほうで給付費がちょっと上がるかなというふうに予測はしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 391ページの下の基金の繰入れについてですけれども、今回の7年度予算では2億3,900万、およそ2億4,000万ほど繰り入れてるんですけども、2点確認したいんですけど、1点目は繰り入れて残高がどれぐらいになるかということと、今後の見込みでなぜこの2億4,000万の繰入れという金額を確定させたのか、その辺りを聞かせてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） すみません、ちょっと残高をきちんと計算してなかったので申し訳ありませんが、年度末が11億6,824万1,879円でしたので、そちらから2億3,949万円を繰り入れますので、引き算していただくとその残額になるかなというふうに思います。すみません、ちゃんと計算してなくて大変申し訳ありません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 結構です。

○長寿課長（塚本由佳君） あと、先ほどのもう一点が基金の今後の見込み……。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） では、もう一度お願いします。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 この2億4,000万円をなぜこの金額の繰入れにしたのか、今後の見込みと併せて聞かせてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 大変申し訳ありませんでした。今回の2億3,000万は、今回、歳入と歳出、給付と保険料をこちらで計算させていただきました差額分といいますか、そちらの足りない部分を繰入れという形になりますので、2億3,000万を繰入れいたしますが、年度末のときにまた基金として積み上げるか、このままいけるかというところではございますので、そちらのほうでまた変わってくとは思いますが、徐々に基金のほうが高く積み上がっておりますので、少しずつ減っていくのではないかというふうに予測しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 概要の78ページで保険給付費を見てみますと、全体の事業の金額とその変化で見ると居宅介護があまり変化率は大きくないですが、施設介護のほうがむしろ割合は大きくなっています。先ほどの答弁にあったとおり、被保険者の年齢構成がより高齢の方の重みが増していて、あんまり居宅介護よりも施設介護のほうのニーズが大きいからとか、そういうことなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらのほうにつきましては、居宅介護サービスも若干では伸びているという形にはなっております。施設介護サービスのほうが伸びが大きいということになりますが、老健さんのほうの給付のほうは今伸びておりますので、そういった分析をしております。やはり施設のほうに入るとなりますと介護度が高い方が入られるということになりますので、先ほど言いました後期高齢者が増えるに伴いまして施設のほうは増えるかなというふうに見込みをしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の点で、第9期の介護計画を立てたときに、今後、介護認定者が伸びるということとその給付の状況がやはり居宅の伸びが結構高いというふうに考えられるということで、そっちを多くして保険料を考えているんですけども、それなのにそんなに伸びてない理由というのがちょっと分からなかったんですけど、そのあたりを説明して

ください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらの計画につきましては、私どもといたしましては、なるべく地域で過ごしていただけるというふうに施策を組んでまいりたいというふうを考えておりますので、居宅介護がなるべくあるようにというふうには考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の385ページの2項 国庫補助金の4目と5目の部分です。保険者機能強化推進交付金と介護保険保険者努力支援交付金、これはいつも頭出しというふうな説明もあるんですが、倍増させてる理由というのは、令和7年度、新しい取組予定があるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 特別新しい取組ということは予定しておりませんが、今の交付金をなるべくちゃんと頂けるようにというふうには考えております。今回の増額につきましては、決算とかそういった実績のほうに合わせさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの居宅サービスのところですけども、そういったところが地域で過ごせるようにということであるようにということだったんですけども、そのための何か取組とかってどういうことをされるのか、それがどういうふうに予算に反映されているんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） なかなかこちらのどこにというふうに予算計上でということは難しいかと思いますが、介護予防のこちらのほうのサービス等を充実させたり、総合事業を充実させていきながらやっていきたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほどと同じ385ページの6目の新しい地方経済生活環境創生交付金、昔の旧デジタル田園都市のあれですかね。この246万円の積算の根拠と、間違っていたら訂正してほしいんですが、5つの基本方針のうち、どれに当たるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） こちらは先ほどの介護保険の審査会のICT化の事業のもののうち4,927万円分の2分の1ということで計上させていただいております。

（400の声あり）

○長寿課長（塚本由佳君） ごめんなさい、492万7,000円の2分の1ということで246万3,000円を計上させていただいております。こちらはデジタル実装型ということで申請をしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 423ページの真ん中辺りの高齢者実態把握調査委託なんですけども、これは恐らく次の介護計画、保険計画での活用があるのかなと思うんですけども、9期のときにされた調査と何か変化とか、調査項目等、変わる部分があるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 調査項目につきましては、また国のほうからの指針等もございまして、そちらのほうを参考にしながらまた変化を加えていきたいというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて議案第16号の質疑を終わります。

続いて、議案第17号の後期高齢者医療特別会計について説明願います。

近藤保険医療課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） それでは、令和7年度後期高齢者医療特別会計予算につきまして御説明申し上げます。

予算書439ページをお願いいたします。

令和7年度後期高齢者医療特別会計の予算総額は14億4,820万円で、前年度と比較し、6,900万円の増額でございます。

それでは、歳出から主なものを御説明いたしますので、454、455ページをお願いいたします。

1款 総務費、一般管理費で前年度比142万4,000円増の1,113万5,000円につきましては、一般管理事務事業の会計年度任用職員の報酬等の増額によるものでございます。

1ページおめくりいただきまして、真ん中の段、2款 後期高齢者医療広域連合納付金でございます。これは愛知県後期高齢者医療広域連合に対し、被保険者から徴収した保険料と一般会計から繰り入れる低所得者の保険料軽減分とを合わせて納付金として納めるものでございます。令和7年度は14億2,052万5,000円と、6,734万円の増額となっております。これは被保険者の増加と料率の段階的改定に伴う増額となります。

続きまして、歳入の御説明をいたしますので、448、449ページをお願いいたします。

1款 後期高齢者医療保険料につきましては、被保険者1万1,200人分の保険料で、前年度比5.5%、6,361万7,000円増の12億2,537万円を見込みました。

その下、2款 繰入金につきましては、事務費及び低所得者の保険料軽減分を市が負担するもので、前年度より530万3,000円増額の2億2,019万3,000円を見込んでおります。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

議案第17号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 449ページの歳入のところの普通徴収保険料の中の滞納繰越分が160万、これは何人分になるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 令和5年末の人数でいいますと69名おります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じく449ページの保険料の徴収のところですけども、両方とも現年度分が上がっているのは人数が増えてるところもあるのかなと思うんですけども、1人当たりの保険料というのも上がってるんですかね。どれぐらい変化がありますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 令和6年度と7年度は広域連合のほうで同一料率となっております。ですので、令和6年度に対しての軽減後保険料につきましては試算が出ておりますが、10万3,381円でございます。それと、6年度、7年度は同一でございますが、段階的引上げということで、6年度には激変緩和策も一部取り入れられておりました。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、7年度のところはまだ分からないということで、そういう意味でいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 6年度に試算されたものを原則的には用いて試算のほうをしております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 試算して1人当たり幾らになるんでしたっけ。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 1人当たり軽減後の保険料が10万3,381円になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて議案第17号の質疑を終わります。

続いて、議案第18号の水上太陽光発電事業特別会計について説明願います。

松本環境課長。

○環境課長（松本裕介君） 令和7年度水上太陽光発電事業特別会計予算について御説明いたします。

予算書465ページを御覧ください。

議案第18号、令和7年度予算総額は6,290万円で、前年度比1,080万円の減額です。減額の主な要因としましては、令和6年度に発生した盗難事案による売電停止期間、復旧工事の影響による積立金及び一般会計繰出金の減額が主な要因でございます。

それでは、歳出から御説明いたします。

478、479ページを御覧ください。

1款 総務費、1項 総務管理費、1目 一般管理費のうち一般管理事務事業は2,146万9,000円で、前年度比154万1,000円の減額です。主なものは保守管理委託料1,153万5,000円です。

続きまして、太陽光発電管理基金積立事業は99万5,000円で、前年度比200万5,000円の減額です。

480、481ページを御覧ください。

3款 公債費、公債費元金償還事業ですが、これは建設当初に起債したもので、2,823万7,000円で、前年度比5万6,000円の増額となります。

その下、公債費利子償還事業49万9,000円は前年度比5万6,000円の減となります。

続きまして、4款 一般会計繰出事業ですが、こちらは一般会計への繰出金で100万円を見込んでおります。前年度比725万4,000円の減額となります。

続きまして、歳入を御説明いたします。

474、475ページを御覧ください。

1款 事業収入は、電力会社へ売電する収入として143万7,000円減額の5,926万円を見込んでおります。

3款 繰越金は、令和6年度の盗難事案による影響を受け、363万7,000円と見込んでおります。

以上で水上太陽光発電事業特別会計予算の説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

議案第18号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 479ページの一般管理事務事業のその中の保険料なんですけど、これは何年の契約で、先回のものと変わってるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 1年間の契約を想定しております。内容については、前回、

盗難が保険についたということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 479ページの基金についてですけれども、この基金が、まず基金、積み立てた結果、幾らになるかということと、積み立ててる目的というのは、今後の撤去だったりとか、改修とか、そういうふうのために積み立てると、そういう理解でいいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 令和6年度まで積み立てた結果、860万円が基金の総額になります。積み立てた理由に関しましては、委員のおっしゃるとおりでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 基金860万、今、積立てがあるんですけども、今回、積立額が少ないんですけども、そうすると、撤去とか改修が計画どおりの時期にできないんじゃないか、そのときまでに積立てができないんじゃないかなと思うんですけども、その辺りの対策、対応はどう考えてますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） こちらの太陽光の収支につきましては、令和11年度に収支がとんとんになるという想定をしております。太陽光の発電に関しては、20年間、F I Tでするので、そこまでは継続するということですので、その長いスパンで見ると大きな影響はございません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 479ページの一番上のところです。4行目、修繕料203万、これは何を修繕する予定で見えるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） こちらは太陽光パネルであるとか、そういったものの修繕を

予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 予算書の481ページの真ん中辺りですけど、一般会計の繰出金、これがかなり減っています。一般会計に繰り出すお金を減らすということですけども、令和7年度は普通のとおり売電をするというようなことになってはいますが、この繰出金が少なくなっているの理由は何ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） こちらにつきましては、令和6年度から令和7年度の繰越金が減るという想定でございますので、そういったものの影響を受けて繰出金が減るというふうに想定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 すみません、これ、ちょっと市場価格に合わせるかどうかという意味合いで聞きたいんですが、474ページの売電収入なんですけど、これって電気代が上がれば、要はこちらの売電金額も上がるとか、そういった影響というのはどういうことになるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 固定価格で売電をしておりますので、そういった影響は受けません。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 予算、どういうふうに予算でいけばいいのか分からないけど、先ほど、令和11年度にとんとんというようなことだったと思うんですけども、当初この特別会計をつくったときのとんとんだったというのと先ほどお答えになったとんとんになるというのは変わってきてるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず大きくは変わってございません。今年度の盗難事案を受けまして1年弱ぐらい収支が逆転するのが少し遅れるという想定でございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 先ほどの474ページ、売電のほうです。固定だって聞きました。見直しとかは全く一切なく、今後はずっと固定ということでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） もちろん市場の動向を見てなんですけども、今現在、申し訳ございません、今現在であれば、市場の動向を見てでございます。

以上です。

（発言する者あり）

○環境課長（松本裕介君） 国の制度で20年間この価格で買い取っていただけるということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） むしろFITだと今のがメリットあるよね。

（おっしゃるとおりですの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて議案第18号の質疑を終わります。

続いて、議案第19号の下水道事業会計について説明願います。

青山下水道課長。

○下水道課長（青山康徳君） 議案第19号 令和7年度豊明市下水道事業会計予算につきまして御説明いたします。

予算書の485ページをお開きください。

地方公営企業法施行規則に規定する予算書様式に準じて作成した予算書にて説明してまいります。

第1条は総則を、第2条は業務の予定量を記載のとおりとするものです。

第2条の2、年間総排水量は590万7,100立方メートルで、前年度と同一水準を予定しております。

第3条は収益的収入及び支出の予定額を定めるもので、収入の第1款 下水道事業収益は13億796万9,000円、前年度比2,236万2,000円の減です。支出の第1款 下水道事業費用は12億5,796万9,000円、前年度比2,236万2,000円の減です。

第4条は資本的収入及び支出の予定額を定めるもので、ページの下段部分、収入の第1款 資本的収入は3億1,861万8,000円、前年度比839万3,000円の増です。

ページを1枚おめくりください。

上段部分の支出の第1款 資本的支出は6億5,863万1,000円、前年度比1,136万2,000円の増です。

1枚ページを戻っていただきまして、第4条の前段部分で資本的収入が不足する額3億4,001万3,000円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額667万1,000円、過年度分損益勘定留保資金2億5,843万2,000円及び当年度分損益勘定留保資金7,491万円で補填するものとしております。

1枚ページをおめくりいただきまして、486ページ中段の第5条は企業債について定めるもので、限度額は当該年度に実施する工事負担金の起債予定額合計で1億5,230万円と定めています。

第6条は、一時借入金の限度額を1億円と定めるものです。

第7条は、予定支出の各項の経費の金額の流用については営業費用と営業外費用間の流用ができることを定めるものです。

第8条は、議会の議決を経なければ流用することができない経費について、職員給与費とするものです。

第9条は、一般会計からの繰入金である他会計補助金を2億8,730万6,000円とするものです。

なお、491ページ以降は豊明市下水道事業会計予算説明書となっており、予算実施計画、事項別明細書等が記載されております。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 説明は終わりました。

議案第19号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 485ページの接続戸数が200ほど増えてます。予算のほうで見ますと、492ページの下水道使用料、こっちのほうはちょっと下がってるんですけども、戸数が増えて、あと、年間の排水量も増えてるんですね。排水量が増えてるのに下水道の使用料

が減ってるというのは、どういうふうでこういうふうに積算されてるのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） 接続戸数につきましては、1軒あたりのところから2軒建ったりとかということで、分散化、世帯数が増えていることによりまして接続戸数が増えているということを見込んでおります。一方、下水道使用料につきましては、皆さん、節水傾向が続いておりますので、接続戸数は増えるんですけども、使用料の収入がそれに伴って増えてるというわけではないというふうに見込んでおります。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ただ、節水傾向というんですけど、排水量は増えてるんですね。その辺りはなぜですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） こちらの排水量の見込みにつきましては、接続戸数の増に合わせて、その分、同じだけ増やしているという形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと違ったら、委員長、はじいてほしいんですけど、一般会計から下水道のこの企業会計に繰り出してるお金というのは、予算書でいうと217ページの一番上のところでいいのかどうか、4億7,800万ほどでいいのかというのをまず確認です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） おっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 この中は多分都市計画税なんかも使われると思うんですけども、今度は概要の23ページ、概要23ページの80番、農排統合事業1億1,200万ほどが上がっていますけども、これはまず下水道会計の中でやるということによろしいですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） おっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 清水委員。

○清水義昭委員 さきに申し上げた一般会計から下水道会計に上げる部分の財源というのは、この農排統合には使われないということではよろしいでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） 一般会計から先ほど4億幾らという数字が入ってきております。農排統合事業として1億1,000、1億1,000かかりますけれども、直接この部分が一般会計から入ってくるものに今年度、令和7年度予算で当たるというわけではございません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それに関係してもう一点ですけれども、資料ナンバー3の②で下水道総合地震対策というか、耐震化で約4,000万ほどありますけれども、このうち2つ目のところの沓掛地区の下水の耐震化で1,300万あるんですけれども、これも恐らく農排地区だと思うんですけれども、これも都市計画税というか、その充当、一般会計からの繰入れがどういふふうに充たっているのかどうなのか、どうなんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） 一般会計からの繰入れ、こちら1,300万に対して、4条予算のところに計上されるものなんですけれども、この分は都市計画税は充たっておりません。以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今の資料3-2の一番上でマンホールトイレの設置、総合福祉会館5基なんですけど、これ、場所、具体的な場所と工事完了予定、どうでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） 総合福祉会館にマンホールトイレ、総合福祉会館の敷地の中なんですけど、ごめんなさい、後ほどでもよろしいでしょうか。具体的な場所ですかね、その敷地のどこに造るかというところ。

(そう、そう、そう、そうの声あり)

○下水道課長（青山康德君） 駐車場の中、駐車場でよろしいですかね。駐車場です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 資料1-14の下水道事業会計のほうで5番目の公共下水道取付け管等設置工事、これ、公費で設置する取付け管等の工事費、100メートル分なんですけど、場所はどこになるんでしょうかね。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） これは特別どこかというふうに予定しているわけじゃなくて、その申請に応じて取付けを行うものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その下のマンホールの蓋の取付けなんですけど、何枚分を予定してるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） 5か所分を予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー3の③の防災調整池の治水対策で、これ、吉池公園の関係だと思ってるんですけども、これ、まず3,052万かの予算でどういった調査をするのかということと、昨年度も吉池公園とその周辺の雨水対策調査というのをやってるんですけども、どう違ってきてるんですかね、今年度は。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） こちらの調査につきましては、吉池団地地区の浸水被害解消に向けて必要な対策を行うための基礎調査を行うこととしております。令和6年度も同様の金額が上がっているということですのでけれども、令和5年度にこちらのところの試算を行っておりますけれども、そのときに大幅に経費が上がるということが分かりましたので、

改めてそれを今年度見直ししまして、来年度、詳しく改めて基礎調査を実施するという
ことで7年度予算で計上させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 資料3-2の2番で詳細耐震診断業務ってあるんですけど、沓掛
町内で。これ、耐震の詳細診断業務で長さが1,400メートルと。これで終わりなのか、今後
続くのか、どういった状況でしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 現状では、こちらで今後その後の予定はありません。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの吉池団地の調査のところですけども、もう一回、どうして
その見直しが必要になったのかということと、この調査の内容、どんな調査なのかという
のをもうちょっと教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） まず、調査の内容につきましては、浸水被害対策のために
必要な基礎調査ということで、対策要領や構造などを決定しまして、測量などの調査を経
て基本設計を行っていくこととなっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 一応、どうして6年のところでつけたのが、要はや
ったのか、やらないのか、7年でどうしてついたのかの説明もお願いします。

答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 6年度は具体的な7年度に予定しております基礎調査とい
うのは行っておりません。1年遅らせた形になっているということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 資料3-2で先ほどの下、マンホール耐震工事なんですけど、こ

れ、三崎地内ということで、これがひとあな耐震対策というんですか、これ、具体的に教えてほしいのと、あと、3基、場所、具体的に分かりますか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） こちらは三崎町地内ということになります。具体的なところはちょっと申し訳ございませんが、こちらのマンホール、人孔、マンホールですね。マンホールなんですけれども、地震発生により、鉄筋が入ってないものですから、壊れてしまうことを防ぐための工事を行う予定です。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書の519ページですけども、前年度で見ますと一般会計からの出資金を入れてやってるんですけども、今回はその分、約5,000万ほどですけども、公共下水の事業債のほうで対応してるんですね。そういうふうに事業債のほうで対応した理由と、この事業債、結構金額が大きいので、どういった工事を予定しているのか、お願いします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 一般会計出資金5,000万円、こちらの減額の理由ですけども、こちらはまず企業債元金が減っていることによるものでございます。さらに事業債が増えている理由につきましては、農排統合事業があるからでございます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 515ページの使用料及び一番下、公営企業会計システム使用料、これ、新しいと思うんですけど、どういったものなのでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） こちらは公営企業会計のシステムとパッケージ使用料です。令和6年度までは保守委託として計上しておりましたけれども、今年度、システム更新を行いますので、データ使用料なども含めた費用としてシステム使用料で今回計上しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 概要の89ページの共同化協定負担金の皆増700万円は、聞き漏らしてたらすみません、これ、何の費用でしたっけ。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 管路施設を東郷町さんと今年度から一緒に実施しております。来年度、令和7年度につきましては、東郷町さんにおきまして事務を行いますので、私どものほうからお支払いする金額となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の東郷町との共同点検のところなんですけども、その成果だったりとかというのはどこか予算に反映はされてるんですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 成果が直接予算に反映されているということはございません。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 概要の90ページで、管渠等築造工事費の大幅な増額の理由について教えてください。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） こちらは農排統合の工事が入っているから増えております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー1-14のところの管渠等築造工事の1億5,000万、先ほどと同じところかもしれないんですけど、一番上の污水管渠撤去工事というのがかなり、1億あるんですけども、これは撤去だけで、更新ではなくて撤去だけ、これは理由は何ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） こちらのほうは農排統合に係る事業でございまして、既設管路の撤去、マンホールの設置となっております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の492ページの営業外収益の補助金のところなんですけど、前年度は250万なんですけど、今回2,350万に急激に上がってるんですけど、これは何か予定して補助金を受けるんでしょうか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） こちらにつきましては、ウォーターＰＰＰの国庫補助2,000万円を予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。ありますか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の517ページの18、負担金のところですよ。境川流域下水道維持管理費負担金3億一千何万で、1,300万ほど増えてる理由は何ですか。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） こちらは維持費負担金単価が約11%増えていることによるものです。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて議案第19号の質疑を終わります。

以上で各議案の質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論は一括して行っていただきますが、本会議でも当然討論ができ、重複することにもなりますので、できれば簡潔にお願いします。

なお、各会派で取りまとめも必要と思いますので、午後3時10分まで休憩としたいが、御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○予算特別委員長(鵜飼貞雄議員) 御異議ありませんので、午後3時10分まで休憩いたします。

午後3時4分休憩

午後3時10分再開

○予算特別委員長(鵜飼貞雄議員) 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

討論のある方は挙手を願います。

青木委員。

○青木けんじ委員 議案第12号 令和7年度豊明市一般会計予算について及び議案第13号から18号までの各特別会計予算について、議案第19号、豊明市下水道事業会計予算について賛成とさせていただきます。詳しくは本会議場で述べさせていただきます。

○予算特別委員長(鵜飼貞雄議員) ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 議案第14号と18号、19号については賛成。

(14の声あり)

○浅井たかお委員 ごめんなさい。

○予算特別委員長(鵜飼貞雄議員) 14、18、19ね。

○浅井たかお委員 14と18と19号が賛成で、12号と16号……。

○予算特別委員長(鵜飼貞雄議員) 13は。

○浅井たかお委員 すみません、13号と……。

○予算特別委員長(鵜飼貞雄議員) 15は。

○浅井たかお委員 ちょっと待って、理由をちょっと言ってからにしますので、ごめんなさいね。13号と16号と17号は保険料が上がったことによるので、上がったので反対、それから、12号は基金の使い方がおかしいと感じ、それから……。

○予算特別委員長(鵜飼貞雄議員) 15の墓園、バツでしょうか。

○浅井たかお委員 15号、指定管理の効果がでないということで反対です。

○予算特別委員長(鵜飼貞雄議員) でいいですか。以上でいいですか。

(漏れはないと思いますの声あり)

○予算特別委員長(鵜飼貞雄議員) 確認していいですか、じゃ。12号は反対でいいですか。じゃ、確認しますよ。12号、反対、13号、反対、14号、賛成、15号、16号、17号、反対、18号、19号、賛成ですね。

(はい、そのとおりですの声あり)

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 会派未来クラブを代表して討論いたします。

議案第12号、一般会計予算及び13号から18号の特別会計予算及び事業会計予算について賛成の討論をいたします。詳しくは本会議場で述べます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 豊明市公明党といたしまして、議案第12号、豊明市一般会計予算から各特別会計予算と第19号の下水道事業会計について賛成といたします。詳しくは本会議場で述べさせていただきます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

順番でいくと郷さんなんだよね。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 まず、一般会計の当初予算案に対して賛成、そして、国保、介護、そして、後期高齢のそれぞれの特別会計に対しては、予算に対しては反対の立場、その他の特別会計及び企業会計について賛成の立場です。

内容については、先ほども総括質疑のときに少しお話ししましたが、それぞれの要素、パラメーターがばらばらに変化しているのが今の豊明市の実態だと思いますが、その中で予算組みは非常に複雑で大変になっていると思います。物価の影響や人件費の影響についても伺って、一部それが不十分ではないかと考える点もあったので、そういった点については本会議のときにまた述べようと考えています。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） お願いします。

次、ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 議案第12号、13号、15号、17号に反対、そのほかは賛成の立場です。討論は本会議場でいたします。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 議案第12号から第19号までの各会計予算について全て賛成です。詳しいことは本会議場で討論させていただきます。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 議案第12号から19号まで賛成とさせていただきます。詳しくは本会議場で討論させていただきます。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 最後に、三浦委員。

○三浦桂司委員 一般会計、特別会計、企業会計、全て滞りなく執行していただくことをお願いして賛成といたします。

以上です。

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） これにて討論を終結し、採決に入ります。

採決については議案の番号順に行います。

初めに、議案第12号について採決を行います。

議案第12号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 賛成多数であります。よって、議案第12号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第13号について採決を行います。

議案第13号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 賛成多数であります。よって、議案第13号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第14号について採決を行います。

議案第14号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第14号は全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第15号について採決を行います。

議案第15号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 賛成多数であります。よって、議案第15号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第16号について採決を行います。

議案第16号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 賛成多数であります。よって、議案第16号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第17号について採決を行います。

議案第17号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 賛成多数であります。よって、議案第17号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第18号について採決を行います。

議案第18号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第18号は全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第19号について採決を行います。

議案第19号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第19号は全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

(異議なしの声あり)

○予算特別委員長（鵜飼貞雄議員） ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

長時間御苦勞さまでした。これにて予算特別委員会を閉会いたします。

午後 3 時 1 9 分閉会

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

予算特別委員会

委員長